令和４年度　事業報告書

社会福祉法人さわらび会

介護老人福祉施設早蕨
デイサービスセンター樹蔭
デイサービスセンター庵
ホームヘルパーステーションあおやぎ
居宅介護支援事業所さわらび
地域連携室さわらび

令和４年度　介護老人福祉施設早蕨

短期入所生活介護早蕨 事業報告書

１．令和４年度 基本方針

⑴感染症予防

新型コロナウイルス等の感染症予防の為、職員には、検温・手洗い・消毒・マスク着用及び行動履歴を残す等の感染予防対策やワクチン接種の可能な利用者、職員はワクチン接種の協力を促す。

又、新規利用者は、利用前に検温や体調確認及び家族等の健康確認を行い、利用を開始時及び１日２回の検温実施や１日５回の室内換気に努め、感染症の予防と早期発見・早期対応に努める。

⑵人材確保（採用・定着・育成）

ハローワークへの求人活動だけでなく人材紹介、派遣業者等あらゆる方法を検討し、採用募集に取り組む。又、採用時には、ミスマッチングが無いよう適正な面接実施や事前見学・トライアル制度の活用等を行う。採用時には、新人研修を実施し所属長や教育部が計画的に関わり、習熟度の確認して適切にフォロー・指導する事で職員定着に取り組む。

⑶リスクマネジメント

介護中の事故や誤薬ゼロを目指す。ケアの統一を図り利用者に負担のないケアを提供する。又、個別の心身状態の把握にも努め、個々の利用者のリスクを把握する。

服薬に関しては、ヒューマンエラーが起きる事を前提に配薬・服用マニュアルの厳守し、誤薬が発生しないように取り組む。又、安全対策担当者を中心に毎月の事故報告書やヒヤリハット報告書を分析することで同事故・類似事故の再発防止に努め「気づき」がある職員育成に努める。

事故や虐待の温床になる不適切ケアの廃止に積極的に取り組む。又、施設長や所属長等が毎日ラウンドすることで相互牽制と虐待防止委員会でケア項目毎に不適ケアの現状確認を行い、課題が有れば速やかに組織的に改善に取り組む。

２．令和４年度 稼働率目標

⑴特養入居稼働率：96％

優先入居の観点から長期待機者の状態を再確認できる体制を確保し、利用者待機者の状況把握に努める。これにより入居検討会時、現在入居されている利用者へのサービス水準の確保と施設見学・相談に随時対応することで新たな入居者への対応も可能とするように総合的に努める。

⑵短期・空床ショート稼働率：100％

新規、利用中の利用者が継続して利用をして頂けるように現場職員とも連携を図る。他居宅事業者との連携、感染状態、在宅での介護実態等を踏まえて必要に応じて柔軟な対応に努める。又、家族との良好な関係性の維持や行事や日々の関わりより利用者満足に繋げリピーター確保に努める。

緊急での問い合わせにも多職種と連携をとり、柔軟な受け入れ態勢に努める。

令和４年度 基本方針・稼働率目標に基づき、次のような活動を行った。

令和４年度事業報告

１．事業内容

⑴入居定員 90 名（介護老人福祉施設早蕨　80 名、短期入居生活介護早蕨　10 名）

階	居室タイプ	居室数	定員数	備考
2 階 (36 名)	個　室	8 室	8 名	和室 1 室
	2 人部屋	8 室	16 名	和室 1 室、ＳＳ4 室
	4 人部屋	3 室	12 名	
3 階 (54 名)	個　室	18 室	18 名	
	2 人部屋	10 室	20 名	和室 1 室、ＳＳ1 室
	4 人部屋	4 室	16 名	

⑵職員体制（令和 5 年 3 月 31 日現在）　（単位：人）

	人　数		合　計	資格
	常　勤	非常勤		
施設長	1		1	社会福祉施設長資格
事務長	1		1	
事務員	2	1	3	
生活相談員	1		1	
介護支援専門員	2	1	3	介護支援専門員
看護職員	4	1	5	看護師
介護職員	24	11	35	介護福祉士 22 名、実務者研修 1 名
機能訓練指導員	1		1	准看護師
管理栄養士	1		1	管理栄養士
調理師	6	2	8	調理師　6 名
家事援助員		4	4	
洗濯・清掃員		6	6	
医師（内科医師：非常勤）		1	1	
合　計	43	27	70	―

⑵採用・退職

		令和 4 年									令和 5 年			合計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
採用	正職	1			1		2		1					5
	臨時										1		1	2
	パート	2	1	1	2	1			1			3		11
	派遣	2		1			1	1						5
退職	正職	1		1	1					2	1	1	1	8
	派遣	1					1		1	1	1			5

⑶職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）　（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	64
新規採用者健康診断	11
腰痛健康診断	86

２．利用者状況（介護老人福祉施設）

⑴市町村別・性別・年齢別入居状況（令和５年３月 31 日現在）

	男性	女性	合計	平均年齢		
				男性	女性	平均
高知市	10	65	75	87.1	88.9	88.6
南国市		2	2			
香南市		1	1			
安芸市	1		1			
佐川町		1	1			
合　計	11	69	80			

⑵月別退所状況及び退所先

月別		人数	退所先			
			医療機関	施設	在宅	死亡
令和４年	４月	3	4		1	0
	５月	2	2			0
	６月	2	2			0
	７月	0	0			0
	８月	1	1			0
	９月	4	2			2
	10 月	1	1			0
	11 月	4	3			1
	12 月	3	0			3
令和５年	１月	0	0			0
	２月	2	1			1
	３月	1	1			0
合　計		23	15	0	1	7

⑶入居利用者の介護度（令和５年３月 31 日）

要介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護３	1	4	5	7%
要介護４	8	45	53	66%
要介護５	1	21	22	27%
合計	10	70	80	100%

※特別養護老人ホームの対象者は、原則、要介護３以上

３．利用者状況（短期入所生活介護）

⑴利用者実人数　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
高知市	35	32	27	30	31	22	33	29	26	30	28	25	348

＜前年度：295 名＞

⑵延べ利用人数　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
高知市	306	305	284	285	249	121	283	273	264	282	290	278	3,220

＜前年度：3,524 名＞

４．令和４年度 利用者数

⑴介護老人福祉施設　（単位：人）

		令和４年					
		４月	５月	６月	７月	８月	９月
介護給付	要介護３	180	186	180	186	186	180
	要介護４	1,400	1,440	1,413	1,486	1,464	1,389
	要介護５	733	761	759	755	751	696
	合　計	2,313	2,387	2,352	2,427	2,401	2,265
延べ定員数		2,400	2,480	2,400	2,480	2,480	2,400
稼働率（%）		96.3	96.3	98.0	97.9	96.8	94.4

		令和４年			令和５年			合計
		10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
介護給付	要介護３	182	168	173	186	168	186	2,161
	要介護４	1,467	1,447	1,518	1,565	1,387	1,603	17,579
	要介護５	711	657	659	647	558	643	8,330
	合　計	2,360	2,272	2,350	2,398	2,113	2,432	28,070
延べ定員数		2,480	2,400	2,480	2,480	2,240	2,480	29,200
稼働率（%）		95.2	94.7	94.8	96.1	94.3	98.1	96.1

⑵短期入所生活介護　（単位：人）

		令和４年					
		４月	５月	６月	７月	８月	９月
予防	要支援２						
介護給付	要介護１	63	65	29	17	18	0
	要介護２	48	48	57	52	53	31
	要介護３	149	149	140	142	114	79
	要介護４	26	25	29	39	32	4
	要介護５	20	18	29	35	32	7
	合　計	306	305	284	285	249	121
（併設延べ人数）		273	275	270	280	220	99
（空床延べ人数）		33	30	14	5	29	22
延べ定員数		300	310	300	280	310	300
併設稼働率（%）		91.0	88.8	90.0	90.4	71.0	33.0
合計稼働率（%）		102	98.40	94.7	92.0	80.4	44.9

		令和４年			令和５年			合計
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
予防	要支援２							
介護給付	要介護１	29	60	38	20	25	15	379
	要介護２	65	29	49	68	66	55	621
	要介護３	92	94	82	130	123	128	1,422
	要介護４	56	47	68	51	70	60	507
	要介護５	41	43	27	13	6	19	290
	合　計	283	273	264	282	290	277	3,219
（併設延べ人数）		244	247	243	270	245	267	2,933
（空床延べ人数）		39	26	21	12	45	10	286
延べ定員数		300	310	300	310	310	300	3,650
併設稼働率（%）		78.8	82.4	78.4	82.1	87.5	86.2	―
合計稼働率（%）		91.3	91.0	85.2	91.0	103.6	89.4	―

５．入所待機者の状況（令和５年３月 31 日現在）

市町村名	人数	待機場所			
		医療機関	施設	在宅	その他
高知市	172	98	35	38	1
南国市	12	6	4	2	
香南市	1		1		
安芸市	2	1	1		
佐川町	1	1			
いの町	2	1	1		
土佐市	3	2	1		
四万十市	2	1	1		
土佐清水	1		1		
芸西村	1	1			
三原村	1	1			
中土佐町	2	1		1	
合計	200	113	45	41	1

６．研修実施状況

⑴外部研修（Zoom 研修も含む）

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和４年	４月 18 日	Zoom	高知県老施協中央Ａブロック　栄養士勉強会	1
	４月 21 日	高知市保健福祉センター	令和４年度　定期総会及び講演会	1
	４月 27 日	高知会館	令和４年度　高知県老人福祉施設協議会　総会	2
	５月 12 日	東部健康福祉センター	５月東部ブロック会	2
	５月 24 日	Zoom	地域包括支援センター職員初級研修Ⅱ	2
	５月 27 日	東部健康福祉センター	東部地域医療ケアカンファレンス	1
	５月 28 日	ふくし交流プラザ	介護支援専門員更新研修Ⅰ	1
	５月 28 日	Zoom	令和４年度　感染管理担当者研修　１日目	2
	５月 29 日	Zoom	令和４年度　感染管理担当研修　２日目	2
	６月３日	Zoom	令和４年度　自立を目指すケア研修	4
	６月４日	Zoom	令和４年度　感染管理担当研修　３日目	1

令和4年	6月8日	高知県消防学校	危険物取扱者保安講習会	1
	6月12日	高知県看護協会会館	令和4年度　感染管理担当研修　4日目	2
	6月15日	東部健康福祉センター	東部ブロック主任ケアマネの会	2
	6月30日	Zoom	ケアマネジメント研修	1
	7月2日	ふくし交流プラザ	介護支援専門員更新研修Ⅰ	1
	7月2日	総合安心センター	成年後見セミナー	1
	7月13日	東部健康福祉センター	7月東部ブロック会	1
	7月30日	ふくし交流プラザ	介護支援専門員更新研修Ⅱ	2
	8月6日	ふくし交流プラザ	令和4年度　介護福祉士基本研修	1
	8月19日	東部健康福祉センター	東部ブロック主任ケアマネの会	2
	9月20日	ふくし交流プラザ	福祉サービス苦情解決セミナー	1
	9月26日	ちより街テラス	公正採用選考人権啓発推進員等の研修会	1
	10月3日	サザンシティホテル	安全運転管理者講習会	1
	10月11日	Zoom	ケアマネジメント研修	3
	10月13日	東部健康福祉センター	10月東部ブロック会	1
	10月20日	東部健康福祉センター	東部ブロック主任ケアマネの会	2
	10月26日	オンライン	栄養改善でいつまでも若々しく	1
	11月10日	ザクラウンパレス新阪急	四国地区社会福祉施設経営者セミナー	2
	11月17日	高知県看護協会会館	高齢者施設や在宅サービス等における感染管理の基本	2
	11月22日	Zoom	高知市ケアマネジメント	4
	12月2日	Zoom	中央Ａブロック　介護支援専門員勉強会	1
	12月4日	Zoom	新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修	1
	12月5日	Zoom	ケアマネと地域医療連携室との交流会	1
	12月8日	東部健康福祉センター	12月東部ブロック会	1
	12月15日	東部健康福祉センター	東部ブロック主任ケアマネの会	2
	12月21日	高知県看護協会会館	新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修	1
令和5年	1月14日	ふくし交流プラザ	介護職種の技能実習指導員講習	2
	1月18日	東部健康福祉センター	1月東部ブロック会	1
	2月9日	ふくし交流プラザ	社会福祉施設総合保険制度説明会	3
	2月13日	Zoom	高齢者・障害者虐待防止・権利擁護研修	1
	2月20日	Zoom	LIFE研修会	5
	3月8日	ふくし交流プラザ	高知県社会福祉法人経営者協議会　理事会	1
	3月15日	ふくし交流プラザ	福祉サービス第三者委員ブロック別研修会	2
	3月20日	総合安心センラー	コロナ5類移行研修	3
	3月22日	総合安心センター	高知市「入・退院時の引き継ぎルール」	1
	3月23日	高知市保健福祉センター	ケアマネジメント研修会	1

＜延べ参加者数：78名(内オンライン15回)＞

⑵内部研修

実施日			場　所	研修内容		参加人数
令和4年	4月	20日	紙面	部会	感染症、防災、認知症ケア、救急要請について	51
		20日	紙面	全体会	施設理念、コンプライアンスについて	51
	5月	30日	紙面	部会	感染症、防災、入居者情報について	49
		18日	紙面	全体会	感染症予防について	49
	6月	28日	紙面	部会	感染症について　排泄ケアについて	52
		15日	紙面	全体会	災害対策BCP（事業継続計画）について	52

令和4年	7月	29日	紙面	部会	委員会連絡　感染症について	51
		20日	紙面	全体会	科学的根拠に基づくケアの実践	51
	8月	24日	紙面	全体会	高齢者虐待及び身体拘束廃止、事故防止	50
	9月	22日	紙面	全体会	新型コロナウイルスについて	50
	10月	20日	紙面	全体会	感染症予防について	50
	11月	16日	紙面	全体会	ノーリフティングケアについて	51
	12月	21日	紙面	全体会	医療の知識、高齢者の疾患について	49
令和5年	1月	18日	紙面	全体会	高齢者虐待及び身体拘束廃止、事故防止	46
	2月	15日	紙面	全体会	認知症ケアについて	45
	3月	28日	集合	部会	委員会連絡　事例について	14
		15日	集合	全体会	R5　事業計画について	47

＜延べ参加者数：858名＞

7．委員会活動実績

委員長を中心に事前に予定（場所・時間・内容）を決め招集を図り、法定委員会・運営委員会を定期開催を行う事が出来た。又、コロナ禍により自宅待機等で担当職員の出席が難しい場合、代理出席・紙面会議の方式で対応し、年間を通じて開催を行う事が出来た。継続的に開催を重ねる事により、責任感や取り組み姿勢、書類作成、多職種連携が図れ、業務の統一等サービス向上に繋がった。

⑴法定委員会

①感染対策委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・利用者感染リストの更新（コロナ、インフル、血液） ・感染状況の確認及び予防対策の検討 ・各事業所や部門からの報告及び質問事項
	介護職員	看護職員	
	管理栄養士		
	特養外：樹蔭、居宅		

・毎月、利用者の感染キャリアリストを作成し、感染状況の確認を行う。又、定期的に理事長より新型コロナウイルス感染情報（資料有）の説明と質疑応答を行い、感染予防意識の向上に努めた。

・職員・利用者共にPCR検査・抗原検査を定期的に実施した内容の報告を行った。

・新型コロナウイルスの感染動向や行政情報の確認及び感染予防対策を検討した。

・在宅部門（デイ、ヘルパー、居宅）との情報共有や感染予防対策を検討した。

②褥瘡委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・褥瘡基本データを基に個別に対応経過の検証 ・ベットマット、エアーマットの使用状況の報告・確認 ・医療機関との連携検討
	管理栄養士	看護職員	
	介護職員		

褥瘡発症者（入院治療中の利用者も含めた数）　（単位：人）

		令和４年									令和５年		
		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
発生者	２階											1	1
	３階	2	2	2	2	1	1	1		3	3	2	2
	合計	2	2	2	2	1	1	1		3	3	3	3
レベル	Ⅰ度	1	1	1	1	1	1	1				1	1
	Ⅱ度	1	1	1	1					1	1	1	1
	Ⅲ度									2	2	1	1

・毎月、創部の経過報告、主治医指示内容の確認、ケア方針、補食の必要性等、多職種参加で検証を行った。又、必要に応じサービス担当者会議の開催の指示を出した。
・褥瘡基本データを基に適正にベットマットの使用が出来ているのかリストを基に検証を行った。
・クラスターによる褥瘡には発生個所、創状態等の特徴の報告を行った。
・令和５年３月末現在２名の入居者は医療機関と連携を図り現在も治療を行っており改善傾向である。

③安全衛生委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・特養職員の健康状態の把握 ・在宅職員の健康状態の把握 ・健康保持、向上への指導・助言
	介護主任		
	特養外：居宅		

・毎月、担当者より職員の心身状態の報告を行い、産業医・医療機関との連携（受診の有無など）を図り、対象職員にあった休息や業務内容の組み立てを検討した。
・腰痛予防ではノーリフト推進委員会と連携し取り組みを行った。具体的には福祉用具の導入、腰痛体操を推進する事により発生者の軽減を図る事が出来た。

④事故防止検討委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・事故報告、ヒヤリハット１・２の集計分析 ・類似事故の再発防止策の検討及び指針の整備 ・事故発生防止研修の企画・実施
	教育指導主任	安全対策担当	
	看護職員	介護福主任	

・各階の事故及びヒヤリハットの種類や場所、時間等に整理し、発生状況の分析・検証を行った。又、類似事故等が発生していなか確認し、対応策が適切に実施されているかを検証した。
・重大事故に繋がった事故は、多職種連携で再発防止に向けた研修の立案・実施を行った。

⑤虐待防止委員会　⑥身体拘束廃止委員会（合同開催）

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・高齢者虐待・身体拘束実施の有無の確認 ・不適正ケアの確認及び改善策の検討 ・意見箱の設置や家族アンケートの実施
	教育指導主任	安全対策担当	
	看護職員	介護福主任	

・施設内での高齢者虐待及び身体拘束の事例が発生していないかを毎月確認した。又、高齢者虐待の温床に成る不適ケアの実態を場面毎に検討し、不適切ケアに関しては、速やかな改善に取り組

んだ。

・意見箱の投函者への聞き取りを行い、委員会で改善策を検討し、投稿者への説明・同意を行い、必要時に応じて家族への説明も行った。苦情に関して職員全体へ苦情内容と改善策の周知徹底を実施した。

⑦給食委員会

<table>
<tr><th>開催月</th><th colspan="2">出席者</th><th>主な議題</th></tr>
<tr><td rowspan="4">毎月開催</td><td>理事長</td><td>施設長</td><td rowspan="4">・嗜好調査や残食、聞き取りから給食への意向を確認し、献立や調理方法の検討
・行事や日々の食事提供での連携を図る
・食事形態の一覧の更新
・新規利用者の食事形態の周知</td></tr>
<tr><td>調理師</td><td>管理栄養士</td></tr>
<tr><td>介護職員</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">特養外：樹蔭職員</td></tr>
</table>

・嗜好調査や残食、聞き取りから給食への意向を確認し、利用者が好む献立の確認や食べやすい献立の検討を行った。

・適温適時の配膳のため、配膳時間の調整や遅食者への対応方法の連携に努めた。

・食中毒予防のための啓発や指導・連携に努めた。

⑧定例入所判定会

<table>
<tr><th>開催月</th><th colspan="2">出席者</th><th>主な議題</th></tr>
<tr><td rowspan="2">毎月開催</td><td>第三者委員</td><td>施設長</td><td rowspan="2">・第三者委員へ待機者情報の報告及び入院者の状況報告
・毎月の入所判定会実施状況の報告及び確認
・入居者の生活状況や施設の感染予防対応の現状報告</td></tr>
<tr><td>藤崎
センター長</td><td>生活相談員</td></tr>
</table>

・毎月、ふれあいセンターへ出向き、前月の入退居状況の報告と待機者の状況報告を行った。又、地域からの入居希望状況や施設での対応可能レベル等の意見交換を行った。

⑨苦情解決委員会

<table>
<tr><th>開催月</th><th colspan="2">出席者</th><th>主な議題</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年１回</td><td>第三者委員</td><td>理事長</td><td rowspan="2">・第三者委員へ１年間の苦情報告
・地域からの相談への対応の報告とその対応への助言</td></tr>
<tr><td>生活相談員</td><td>施設長</td></tr>
</table>

・令和 4 年度は、3 年ぶりに開催し苦情報告を行った。家族との連携や報告等を細目に行い信頼関係を築き誠心誠意努めるよう意見を頂いた。

⑵運営委員会

①ケアプラン委員会

<table>
<tr><th>開催月</th><th colspan="2">出席者</th><th>主な議題</th></tr>
<tr><td rowspan="3">毎月開催</td><td>施設長</td><td>ケアマネ</td><td rowspan="3">・サービス担当者会議やモニタニング等の検討
・介護認定更新に関する対応報告
・利用者及び家族からの思いの反映方法の検討</td></tr>
<tr><td>機能訓練</td><td>看護職員</td></tr>
<tr><td>介護職員</td><td>管理栄養士</td></tr>
</table>

・新型コロナウイルス感染症予防により介護職員の待機等もあり担当者会議への参加減少となった。担当職員には紙面報告、聞き取り、また伝達を行いプラン状況の反映や実施の周知を行った。

・ご家族にはプラン同意の返信覧を作り家族からの思いの返信が届くようになった。また、電話連絡だけでなく、ガラス越し面会時等にも家族の思いを聞き取るように取り組んだ。

・コロナ禍での新たなサービス担当者会議の形としてオンライン（zoom）での参加が行える様に家族への働きかけ等も含め検討を行った。

②防災委員会

<table>
<tr><th>開催月</th><th colspan="2">出席者</th><th>主な議題</th></tr>
<tr><td rowspan="4">毎月開催</td><td>施設長</td><td>防火管理者</td><td rowspan="4">・年 3 回実施の防災訓練内容の検討
・備品（ヘルメット・防災頭巾等）の総数・保管の確認
・コンセントの点検確認（年 3 回）
・防災備蓄食料の確認（毎月）及び更新
・非常避難路の確認</td></tr>
<tr><td>管理栄養士</td><td>介護主任</td></tr>
<tr><td>看護職員</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">特養外：樹蔭、居宅</td></tr>
</table>

・令和 4 年度は、6 月に日中想定の地震避難・火災訓練。11 月に日中想定の地震避難訓練。2 月に夜間想定の地震避難・火災訓練を実施した。コロナ禍で消防の立ち合いや地域を巻き込んだ訓練は出来なかったが、訓練を重ね毎に防災意識も向上している。又、新たに 2 名の防災士の取得を行う事が出来た。（計 3 名）

・毎月の防災備蓄食料の確認を行い、適切に賞味期限内に入替えが出来た。また、防災訓練実施時期には、火災防止のためのコンセント点検やヘルメット等の防災備品の確認や保管場所の検討等出来た。

③サービス向上委員会

<table>
<tr><th>開催月</th><th colspan="2">出席者</th><th>主な議題</th></tr>
<tr><td rowspan="3">毎月開催</td><td>施設長</td><td>看護職員</td><td rowspan="3">・食事、口腔ケア、排泄、入浴に関するサービス提供の確認と見直しの検討
・改善項目・直近課題の対応の検討</td></tr>
<tr><td>管理栄養士</td><td>介護職員</td></tr>
<tr><td>看護職員</td><td></td></tr>
</table>

・令和 4 年 4 月より排泄委員会、入浴・整容委員会、口腔ケア委員会を統合しサービス向上委員会の運営を開始した。

・（排泄）利用者に適切なパッドを使用出来るよう、各社の製品を比較し品質及び費用負担を検証し改善した事により大幅な費用削減に繋がった。

・（入浴）コロナ禍により自宅待機による人員確保に苦労したが、入浴パート職員と連携を図り業務改善を行い、ゆっくり入浴して頂けるように取り組みを進めた。又、新型コロナウイルス等の感染症予防の為、各階での入浴日の設定を設けた。

・（食事）適切なトロミ使用を行う為、利用者の嚥下状態等、心身の状態に合わせ、軽量スプーンを用いてトロミ使用量の統一を図った。使用量の統一と同時にコスト削減に繋がった。

・（口腔）コロナ禍の感染予防で自宅待機等、人員確保に苦労し十分な口腔ケアを行う事が難しかったが、口腔内の清潔が不十分な入居者をピックアップし歯科衛生士によるブラッシング等を実施し清潔に努める事が出来た。

④エコ委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	施設長	事務員	・電気、水道等を適正に使用しているか毎月確認 ・設備の修繕や整理整頓の確認及び啓発 ・エコマック（生ごみ肥料）の管理 ・計画的な備品点検と台帳管理や報告
	教育	介護職員	
	特養外：樹蔭、居宅		

・令和４年４月より備品管理委員会、環境整備・美化委員会を統一し、エコ委員会とし運営した。

・電気、水道やペーパータオル等備品を使うべき所は適切に使用出来るように管理した。
特に、電灯やエアコンの使用方法や破損物の速やかな修繕実施が行えた。

・車椅子、ベッドの台帳作成、管理番号を決め、修繕依頼時には経年劣化等による有無の確認を行った事で適切な修理や保管を行う事が出来た。

・2階、3階の倉庫には、行事・レク用品以外にも感染予防備品等（ゾーニング備品）や備蓄食料及び防災備品も有るため、非常時に直ぐに取り出せるように環境整備に努めた。

⑤元気生きがい委員会

開催月	出席者		主な議題
偶数月開催	施設長	生活相談員	・年間行事予定の立案やクラブ活動等の企画検討 ・利用者間の交流の場の検討 ・利用者自身のやってみたい事の検討 ・関係部門、ご家族等への調整や環境整備の検討
	機能訓練	介護職員	
	特養外：地域連携室		

・コロナ禍での感染予防に注意した年間及び毎月の行事計画立案に取組んだ。感染状況に応じて、行事の日程変更や内容の変更及び中止の対応を行った。

・コロナ禍により自宅待機による人員確保に苦労したが、新たなレクレーションの企画として植物への水やりを入居者に行って頂き、観賞や育成過程を他利用者・職員と共に楽しむ事が出来た。

＜令４年度 年間行事予定実施状況＞

日程		行事内容	実施状況
令和４年	４月	お花見	感染予防で中止し、代替策として少人数での施設周辺の散歩
	５月	田植え見学	感染予防で中止し、代替策として少人数での施設周辺の散歩
		新緑ツアー	
	６月	あじさい見学	感染予防で中止し、代替策として少人数での施設周辺の散歩
	７月	納涼祭	特養のみで規模縮小（各階に分けて）し実施
	８月	花火	感染予防で中止
		五台山夏祭り	感染予防で五台山夏祭り自体が中止
	９月	敬老会	特養のみで規模縮小（各階に分けて）し実施
	10月	運動会	感染予防で中止
	11月	みかん狩り	感染予防で中止
	12月	クリスマス忘年会	規模縮小（各階に分けて）し実施
		もちつき	感染予防で中止
令和５年	１月	新年会	規模縮小（各階に分けて）し実施
	２月	節分	実施
		バレンタインケーキバイキング	実施（おやつ時）
	３月	いちご狩り	感染予防で中止

＜毎月の行事＞

・ホーム喫茶　・料理クラブ　・誕生日会　・茶道クラブ　・買物

＜毎週の行事＞

・華道クラブ　・植物への水やり（鑑賞）

⑥ノーリフト推進委員会

開催月	出席者		主な議題
奇数月開催	施設長	教育	・ノーリフトケアに関する知識・技術の習得の検討 ・利用者サービス提供の検討 ・必要物品の点検と管理 ・多職種への働きかけ及び連携
	管理栄養士	介護職員	
	ケアマネ	看護職員	
	機能訓練		

・利用者、職員に負担の少ない介護「持ち上げない」「抱え上げない」「引きずらない」を目標に新たな福祉用具導入（リフト、スリングシート、スライディングボード等)、知識・技術教育、毎朝の腰痛体操を実施した。多職種でアセスメントしスライディングボード（11 名)、リフト（4 名）を使用した。結果、職員・利用者共に負担の少ないケアを行う事が出来、腰痛を訴える職員も激減した。

環境整備では、ベッド・車椅子を入居者に合った物を選定する等の見直しを図ったが、表皮剥離等のケガに繋がった事例もあり再発防止の為、委員会で再検証を行い、リフト、ボードマニュアルの見直しを行い、技術確認の再指導に取り組んだ。

８．各部門の取り組み

⑴教育部

①基本理念や行動指針に沿ったサービスが出来るよう、基本理念や行動指針を職員全員に浸透させる為、毎朝の申し送り時に、参加者全員で基本理念の唱和を行った。又、各種委員会のサポートを行い、委員会担当者と連携し、委員会を通して職員それぞれが役割をもって活動していけるよう支援を行った。

②認知症教育では、認知症担当者の退職に伴い、新たに担当として認知症リーダー研修修了者より介護主任 1 名、介護副主任 1 名を選出、2 月の全体会で認知症ケアについて紙面会議を行った。又、認知症の困難事例は、多職種で検討し、対応した。

③施設内研修では、紙面 11 回、集合研修 1 回を実施した。9 月の研修ではコロナクラスター発生後であり、新型コロナウイルスをテーマに、各種データに基づく情報分析した事柄を今後に活かせる内容で行えた。施設外研修では、感染症予防を行いながら前年度より集合研修にも多く職員が参加し、階層、各職種別にもスキルアップに取り組んだ

④9 月に特養 3 階で、コロナのクラスター発生し、入居者・介護職員の複数がコロナ陽性となりクラスターの間、3 階の感染エリアの指導・管理の応援協力を教育部が行った。

⑤事故や苦情のリスク発生に対し、事故、苦情報告書の作成、職員指導・フォロー及び家族対応を行った。

⑥令和 5 年度にインドネシア（バリ島）より介護技能実習生（2 名）の受け入れの為、介護主任 2 名に、技術的指導者、生活相談者等の担当指名、介護職の技能実習指導員講習に参加した。

⑵介護

業務に入る前に「さわらび理念」の唱和を行い、理念に沿った利用者の生活に安心して過ごせる介護支援が出来るように意識付けを行った。しかしながら、ケアに関しての苦情が入居者・家族から有った。内容として、入居者自身の持ち込み携帯電話から家族に直接連絡し、一歩的な入居者からの訴えから誤解を招いたケースも複数発生した。課題として、事前の定期的な施設から家族へ利用者状況の連絡や利用者自身から施設への要望を言ってもらえる体制の構築に取り組んた。

①生活全般

家族とのオンライン面会は、延べ54件に加え、令和4年度よりガラス越し面会を開始した。ガラス越し面会数は、延べ 138 件で、ガラス越しで有ったが、利用者と家族の交流の場を作る事が出来、多くの笑顔を見る事が出来た。

第7波の令和4年8月中旬に、3階ショート利用者1名が退居後にコロナ陽性が判明。その後、同フロアの特養利用者 1 名が新たにコロナ陽性となる。その為、ゾーニング対応・同フロアのショートステイ中止等感染拡大予防に努めるが、9 月 1 日より利用者の陽性者が増加し、クラスター発生となった。9月26日ゾーニングを解除し、終結となる。クラスターによる陽性者は、利用者40名、職員8名の合計48名であったが、死亡例等は無く、又、3階フロアのみでクラスターを食い止める事が出来た。終結後には、感染症総括会を行い、感染症予防対策の見直しや感染症対応備品の備蓄、ショートステイの居室変更によるショートステイからの持ち込みリスクの軽減や陽性者が確認された時のゾーニング居室の確保、3 階の本館・新館の利用者をグループ分けしたケア取り組み等に取り組んだ。その為、第 8 波の際には、職員の意識も高く自主的に感染症対策に取り組み感染症の持ち込みはなかった。

②リスクマネジメント

行政報告の介護事故は、14 件と前年度に比べ微減した。又、新たなの事故として、ノーリフトケアを行っている際の転落事故が有った。事故の発生後、事故検討会議を開催し、事故の原因、分析、対応策の検討を行った。又、検討した内容を高知市への提出後、書面での全職員に回覧し、再発防止の周知徹底を図った。

苦情は、3 件であった。内容としては、職員の説明不足と誤解が大半であった。現在、12 名の利用者が携帯電話を所持しており、直接家族と連絡を取り合っている為、利用者の話をそのまま受け取り、思い込みよる誤解となるケースが増加した。又、利用者との関わりの中で誤解を招くケースも有り、誤解や不適切なケアにならないよう日頃から接遇マナーや認知症ケアの指導を行った。

③人材(財)育成

職員個々への聞き取りを行い、勤務や業務内容の調整を行った。新人職員育成については必要に応じて1対1での関わりを持ち、育成状況の確認を行い、人材育成に努めた。

委員会活動を一部統合し、例年以上に介護職員の意見を反映した委員の人選を行い、職員自身が役割に対しての意識を高め活動し個々の実力が発揮できるよう取り組んだ。又、内部研修だけでなく、Zoom研修を含む外部研修にも積極的に参加を行った。

新たな雇用形態として、夜勤専従や入浴専従職員を配置し、常勤職員の業務負担の軽減を図った。

又、詰所の配置換え等環境整備に取り組み、職員が動きやすい導線を構築した。

⑶看護

上半期に職員の退職が有り、業務の申し送りも十分出来ていない状況が発生した為、苦慮する面が多かった。又、下半期にはコロナのクラスター発生があり、保健所・医療機関等との連携や感染症拡大防止対応で戸惑う事も多かった。介護老人福祉施設という「生活の場」で施設経験者が少なく多職種協働し、に円滑に利用者の体調を維持していくかを模索した１年で有った。

①服薬

指示のもと個別に利用者の健康保持・増進をはかり異常の早期発見に努めた。服薬管理の徹底と誤薬事故防止については、上半期には医務職員の離職等も有り業務が多忙になった事で誤薬事故の発生となった。その為、人員の補充と服薬マニュアル変更を行い服薬事故防止に取り組み、下半期には服薬事故が無くなった。

②感染症

コロナ禍であり集合研修は開催出来なかったが日々の申し送りや紙面で感染予防の啓発に努めた。又、リモートでの感染予防研修に参加し、感染予防のガウンテクニック等の指導を行った。

③多職種連携

日中は、午前・午後のバイタル測定を実施し体調変化の把握に努め、申し送りやサービス担当者会議等で注意点を啓発した。又、夜間は、オンコール体制で夜勤者と連携を図った。令和４年９月には、コロナのクラスター発生し、日常の健康管理と感染症対策で繁忙となったが、多職種と協働し感染症拡大防止に努め、３名の一時的な入院者は発生したが、死亡例は無かった。

④褥瘡

クラスター終結後、３階利用者を中心に褥瘡悪化等のスキントラブルの増加が見られた。その為、専門医の受診で対応し、多職種協働での褥瘡予防・改善に取り組んだ。

⑤喀痰

喀痰の施設内研修は、喀痰吸引指導者が１名退職したこと喀痰対象者が在籍して居なかった為、実習実施出来なかった。

特養入院日数状況　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計	平均
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月		
入院者数	3	8	2	3	3	9	7	11	8	9	5	5	73	6.0
延べ入院日数	89	81	39	39	68	132	75	121	122	72	121	44	1,003	83.5

特養外来受診状況（延べ人数）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計	平均
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月		
皮 膚 科	4	2	7		4	3	5	6	3	1	1	3	39	3.3
整形外科	3			5	2	1	6	6	3	3	2	2	33	2.8
内　　科	4	3	1	3		1		2	3	3	3	3	26	2.2
泌尿器科	1	3	1	1								1	7	0.6
眼　　科	2												2	0.2
脳 外 科							1					1	2	0.2
婦 人 科												2	2	0.2

精 神 科	1												1	0.1
合　　計	15	8	9	9	6	5	12	14	9	7	6	12	112	9.3
救急搬送	1	2		2	1	5			2	3			16	1.3

※前年度受診件数は、296 件であったが 112 件と減少している。要因としては、コロナ禍であり受診を控えていた面もあるが、日の健康管理や緊急性なければ往診日に診察対応等が減少要因。

⑷機能訓練（リハビリ）

①LIFE（科学的介護情報システム）に取り組み、アセスメントを定期的に送ったがフィードバックに関しては上半期、連携不足のためフィードバックの確認が遅れた。下半期はフィードバックされたデ―タを確認しながら準備に取り組んだ。

②利用者の日常生活動作が維持できるよう、個別機能訓練計画書を立案。計画的に個別リハビリを実施し、利用者の生活動作の維持に繋がった。又、機能訓練指導員だけでなく介護職員等に対して情報共有を図る為に、個別機能訓練計画書のファイルを各階の棚に配置し、周知に取り組んだ。

③立位・移乗動作時の下肢の踏ん張り動作が困難な利用者に対して、ノーリフト推進委員会のメンバーとの連携を図り、利用者に合った福祉用具（スライディングボード・リフト）の選定を行い、移乗介助を行う事で利用者や職員共に、苦痛なく安全に移乗動作が行えた。

④令和 4 年 8 月 23 日～9 月 30 日迄、3 階でコロナのクラスターにより、3 階のリハビリを中止した。クラスター終結後、3 階利用者のＡＤＬ低下が顕著に見られた為、臨時アセスメントを実施し、ＡＤL 低下した利用者の計画内容を変更した。変更した計画内容を速やかに実施した事で 3 か月後の年末には、ほぼ全員が元のＡＤＬレベルに回復した。

⑥ノーリフトケア推進委員会の委員として、職員の腰痛予防を図る為に朝の申し送り時に腰痛予防体操を実施した。体操開始から半年後には、職員の大幅な腰痛改善に繋がった。

⑦集団体操で口腔体操と口腔マッサージを実施し、実施した利用者の誤嚥性肺炎の予防と口腔機能の維持に繋がった。

特養 個別機能訓練実施延べ人数　　（単位：人）

	令和 4 年									令和 5 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
訓練人数	80	80	81	80	80	33	80	82	81	81	82	80	920

※9 月クラス―により、3 階の訓練を中止。　　＜平均人数:76.7 人＞

短期・個別機能訓練実施実人数　　（単位：人）

	令和 4 年									令和 5 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
訓練人数	25	25	23	23	24	11	26	24	25	27	23	20	276

※9 月クラス―により、3 階の訓練中止。　　＜平均人数:23.0 人＞

⑸生活相談

①特養入居

・入居の相談及び申込窓口として対応を行った。令和４度の定例入所判定委員会は、毎月『介護老人福祉施設早蕨の入退居にかかる指針』に基づき、第三者委員（高須ふれあいセンター長）も参画し、入居検討委員会が透明性・公平性の確保に努めた検討・決定を行った。

・入居待機者の状況については、生活相談員が連絡を取り状況の確認を行った。

入居検討委員会開催実績　（単位：回）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
件数	2	2	2	1	2	2	1	3	3	3	3	2	26

・事前調査は、特に新型コロナウイルス関連の情報（対象者の健康状態、ワクチン摂取状況、家族等同居人健康状況など）の収集に努め、在宅からの入居前には、PCR 検査の実施を行った。

・コロナ禍の中、逢いたい人に会えるよう感染状況を確認しながら週３回（月・水・金曜日の午前ガラス越し面会を実施した。延べ 138 名のご家族の面会、またオンラインでは 10 組の面会を行った。ボランティア等の受け入れは出来なかった。関係団体等には、継続的に連絡を取り関係性の維持に努めた。

・令和４年度は、住み慣れた家で最期を家族と共に過ごしたいとご本人、家族の要望があり居宅ケアマネ、訪問診療、訪問看護等の連携を図り１名が４月在宅復帰された。今年１月に永眠されたが、8ヵ月間家族と充実した時間を過し共に生活できた事を家族より感謝の言葉を頂いた。

・利用者預かり金ついては、3ヶ月毎に金銭出納簿を身元引受人へ送付し問題なく取扱い出来た。

・苦情窓口となり家族からケアに対する要望、日常の声掛けや関わり、身体の変化等の報告が有った多職種と連携し常日頃の状態報告を共有し家族の思いを伝えた。

①短期入所

・9 月に特養 3 階コロナクラスター発生しショートステイの受け入れを中止し予定者 28 名述べ 257 日のキャンセルとなった。他居宅介護事業所に協力依頼し、家族が困らないように対応出来た。

・緊急ショート時等、利用者が混乱せず利用できるように各部署と連携を図り、受入れを行った。

・事前調査は、特に新型コロナウイルス関連の情報（対象者の健康状態、ワクチン摂取状況、家族等同居人健康状況など）の収集に努めた。

・入院者や空床が出た場合には、各居宅介護支援事業所へ情報提供を行い稼働率維持に努めた。

⑹ケアプラン

・入居者について、心身の状態や取り巻く環境、利用者及び家族の希望等を勘案しながら、施設サービス計画書（ケアプラン）の作成に努めた。

・サービス担当者会議は定期的（3ヶ月）に開催し、多職種との情報の共有を図った。コロナ禍で家族参加は出来なかったが、事前に電話連絡、ガラス越し面会等を通じて家族の希望の確認を行った。

・ケアプランを作成した際は、利用者又は、家族に説明し同意を頂き、これに従って計画的にサービス提供を行った。

・入退院や褥瘡発生時及び介護事故等で心身状態の急激な変化があった際には、速やかにアセスメントを行い、状況に合ったケアプランの立案・修正を行った。
・利用者の重度化に伴い、優先順位として生命を優先したケアプランや褥瘡関係のケアプランが増えており、多職種との情報の共有を図りながらケアプラン作成に努めた。
・ショートステイは、連続3泊4日以上の利用者に対し、居宅介護支援事業所からの居宅サービス計画書を基に、ショートステイの施設サービス計画書を作成した。作成した施設サービス計画書は、利用開始前までに利用者及び家族に説明し同意を頂き、これに従って計画的にサービス提供を行った。

特養ケアプラン作成実績　（単位：件）

	令和4年									令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	36	21	40	29	24	38	31	23	41	31	25	32	371

＜前年度：385件＞

※R3年度実績より作成件数14件減少した。入居稼働率が安定し、入退居者の減少した為。

短期利用計画書作成実績　（単位：件）

	令和4年									令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	9	11	11	7	12	8	11	12	15	11	9	10	126

＜前年度：140件＞

※R3年度実績より作成件数14件減少があった。コロナによるSS利用中止、入居者の入院者減による空床利用減少の為。

⑺栄養・調理

①食事

給食委員会を毎月 1 回開催し、嗜好調査の結果を共有し、利用者の栄養状態、衛生管理、行事について各職種間で意見交換・検討を行い課題解決に努めた。下半期からは申し送りに参加し介護部門との連携を図った。

利用者ごとの咀嚼、嚥下状態に応じた食事形態や嗜好に添った食事提供に努めた。

体調不良時にはその時の状態に応じた食事形態での食事を提供出来た。

食事量の低下、嚥下状態の悪化が見られる利用者に対して、粥ゼリーの提供、栄養補助食品の提供を行い経口摂取の継続を行う事が出来た。

納涼祭、敬老会は今年度も規模縮小での実施であったが、お祝いの松花堂弁当の提供が出来た。又、旬の食材を使用した料理、行事食を提供し食事の面から季節を感じて頂けるように努めた。

全ての食材料について値上がりしている為、新しい献立の実施、食数の確認、発注量の見直しの頻度を増やし残食の減少に努めた。又、職員食の欠食ミスも減少しフードロスに繋がった。

②栄養

多職種協働のサービス担当者会に参加し、栄養ケアマネジメントを実施することが出来た。

利用者ごとの身体的データ及びその他の身体状態を把握し状態に合わせた栄養補助食品を選定・提供

を行う等栄養状態の維持・改善に努めた。褥瘡発生者、OH スケール高度リスクの入居者には食事量・体重増減の把握・栄養状態の確認を行い、状態によりカロリーの見直し、補助食品の提供を行った。

医師の指示により療養食の提供を行い、慢性疾患の病状の安定に努めた。

③衛生管理

適正な温度管理を行い調理が実施出来た。食事時間に合わせて調理・提供することで衛生的かつ適温での食事を提供する事が出来た。

大量調理マニュアルにある衛生チェック表を活用し納入した食材の温度管理、毎月の清掃や体調管理（年 1 回の定期検診や月 1 回の検便）チェックを行い、衛生管理に努めた。

④コロナ対策

クラスター発生時感染対策として使い捨て食器での食事提供を行った。第 7 波以降感染対策として使い捨て食器、専用のトレーを備蓄した。発熱者には使い捨て食器での食事提供を行い感染対策に努めている。

低栄養状態リスク（令和 5 年 3 月判定）

	令和 5 年 3 月	令和 4 年 3 月
低リスク	21 名	27 名
中リスク	42 名	36 名
高リスク	17 名	17 名

療養食（加算対象）　（令和 5 年 3 月）

心臓病食	糖尿病食	腎臓病食	合計
9 名	8 名	1 名	18 名

※療養食対象者が退所となり、前年度の 25 名から減少。

9．防災・安全対策

⑴防災訓練

南海トラフ地震や火災災害に備え防災訓練を東消防署三里出張所、三誠産業（防災機器保守点検業者）と連携のもと、下記の通り実施した。

<table>
<tr><th>訓練実施日
訓練想定</th><th>訓練実施項目</th><th colspan="2">参加者</th></tr>
<tr><td rowspan="3">令和 4 年 6 月 16 日
（日中想定）</td><td rowspan="3">①地震発生前の身を守る行動周知（地震が来ること・頭等を守ること）し、安全確保
②地震発生後の利用者及び職員等の安否確認
③火災発生の確認（出火元・火災の状況）及び必要に応じた初期消火
④出火元からの避難誘導
⑤消防機関への通報及び連携
⑥施設内外の設備点検の実施（建物・設備の確認）
⑦災害対策本部の設置
⑧情報収集（利用者、職員等の状況、施設建物状況確認）し、災害対策本部への報告
⑨水消火器を利用した消火訓練</td><td>特養</td><td>職　員：30 名
利用者：65 名</td></tr>
<tr><td>樹蔭</td><td>職　員：9 名
利用者：32 名</td></tr>
<tr><td>居宅</td><td>職　員：4 名</td></tr>
</table>

令和４年 11 月 28 日 （日中想定）	①地震発生時の利用者及び職員自身の安全確保 ②地震発生後の利用者の安否確認 ③避難行動訓練（窓ガラス・倒壊物からの避難、1 階からの垂直避難） ④負傷者への対応（ガラス飛散による裂傷　2F,3F） ⑤施設内外の設備点検の実施（地震後火災の有無の確認も含む） ⑥情報収集（利用者、職員等の安否・受傷状況確認、施設建物状況確認） ⑦指揮統括（施設長へ安否確認及び被害状況報告）	特養	職　員：25 名 利用者：69 名
		樹蔭	職　員：　9 名 利用者：34 名
		居宅	職　員：　1 名
令和５年２月 22 日 （夜間想定）	①地震発生時の利用者及び職員自身の安全確認 ②地震発生後の利用者の安否 ③火災発生の確認及び初期消火 ④出火元からの避難誘導 ⑤消防機関への通報及び連携 ⑥情報収集（利用者、火災状況） ⑦緊急連絡網による状況報告	特養	職　員：28 名 利用者：64 名
		樹蔭	職　員：　9 名 利用者：31 名
		居宅	職　員：　4 名

新型コロナウイルス感染予防のため、消防立会いなど大掛かりな訓練実施は出来なかったが、昨年とは異なる訓練（ケガ人発生想定）内容を一つ取り入れて実施する事で職員の意識向上が図れた。

令和４年度には、福祉避難所の指定を受け、高知市との防災情報の共有を行う事が出来た。

1名だった防災士が、新たに2名の防災士資格者を有することになり防災強化に努める事が出来た。

⑵設備点検【法廷点検】について

①消防用設備等点検は、三誠産業が、令和４年 10 月 31 日と令和５年２月 22 日の２回実施した。内、10 月 31 日の点検結果を東消防署三里出張所に提出した。

②非常用発電装置は、四国電気保安協会が次のように実施した。

・絶縁監視装置点検を隔月毎実施。

・太陽電池発電点検を令和４年９月２日と令和５年３月１日の２回実施。

１０．広報活動

ホームページ（スタッフ日記）更新：18 回

月	回数	月	回数	月	回数
4 月	0	8 月	1	12 月	1
5 月	2	9 月	0	1 月	2
6 月	4	10 月	0	2 月	1
7 月	2	11 月	0	3 月	5

１１．総括

⑴令和４年度の収入実績は、前年度 381,246,620 円（特養：340,689,195 円・短期 40,557,425 円）に対して今年度は、394,219,640 円（特養：356,779,417 円・短期 37,440,223 円）で前年度比 101%、日標に対しては 102.6%の実績であった。

特養入居の稼働率は、入院等の空床日数が 1,003 日で前年度より 585 日の減となり年間利用日数 29,200 日に対して実利用日数が 28,070 日、稼働率 96.1%で目標達成出来なかった。退居者は、前年度 32 名対して今年度は 23 名と 9 名減となり、退所先は医療機関への入院が多く 15 名の 65.2%の割合となった。

短期入所の稼働率は、年間利用日数 3,650 日対して実利用日数は 3,219 日（併設 3,159 日、空床 392 日）で、併設稼働率 86.5%、空床を合わせると 88.2%となり、昨年度の 97.2%から 9%の減となった。稼働率の低下の主な原因としては、9 月の第 7 波のクラスターによる SS 受入停止と発熱等での利用中止が稼働率減の要因であった。

ウクライナでの戦争や円安で、光熱費・ガソリン・食材・介護用品・ペーパー類等全ての物が高騰している。値上に関しては、各業者に余裕を持った事前通知と代替品の提案等の交渉を行い高騰の抑制に努めた。又、エコ委員会を通じて、光熱費の適切な使用の啓発。サービス向上委員会では、オムツの使用やトロミ剤の使用の見直しや活用できる補助補助金の検討に努めた。

⑵新型コロナウイルスへの予防対策としては、全職員がマスクの着用・手洗い・手指のアルコール消毒等の実施や感染症が疑いのある症状や同居家族の体調不良がある場合には出勤の中止と復帰前の PCR 検査を実施した。また、アレルギー等無い職員・入居者には、ワクチン接種の協力を依頼し、速やかに令和 4 年 8 月中旬迄に 5 回のワクチン接種の実施が出来たが、8 月 19 日 SS 利用者が発熱し、利用中止し医療機関受診するとコロナ陽性となる。8 月 20 日同フロア利用者が発熱し、抗原検査でコロナ陽性が判明。ゾーニング（隔離）対応し、9 月 1 日解除日に新たなコロナ陽性者 1 名判明する。9 月 2 日に 5 名コロナ陽性者が確認され、クラスター認定となる。9 月 9 日迄陽性者が確認された。

感染当初から保健所、医療機関、行政、各種関係団体と連携し対応していたが施設内感染の猛威は凄まじく利用者の感染拡大に比例し、職員の陽性者が続発。他部署や他フロア、ブエナビスタからの応援を頂き、9 月 26 日に終結（ゾーニング対応 38 日間）する事が出来た。入院者 4 名（全員退院後、帰設）が出たが死亡例が無かった事と 3 階フロアのみで対応出来た事は幸いであった。しかしながら、3 階利用者の ADL（日常生活動作）の低下やや褥瘡等のスキントラブルが多く見られ為、ケアプランや個別機能訓練計画の見直しを行い、3 ヶ月後の年末迄にほぼ全員元の心身状態に戻った。又、職員のコロナ鬱のような症状も聞かれメンタルヘルスも取り組んだ。今回のクラスターで経験した事で職員全体の感染症予防の意識・スキルの向上が見られ、第 8 波の対応は、大きな混乱なくコロナウイルスの持ち込みも無かった。

＜特養 3 階のコロナ経過＞

月日		コロナ陽性者		備考
		利用者	職員	
8	19	1 名		SS 利用者、当日利用終了
	20	1 名		ゾーニング対応開始（9/1 解除）

9	1	1名		
	2	5名		クラスター認定
	3		1名	職員の抗原検査開始
	4	10名	1名	陽性入居者以外40名PCR検査実施
	5			
	6	5名	3名	職員のPCR検査開始
	7	11名	1名	
	8	4名	2名	
	9	3名		
合計		41名	8名	

※コロナ陽性者の中で重篤化の恐れがある3名と転倒骨折の1名が入院対応となる。

※9/15よりゾーニング解除対応開始。9/26ゾーニング解除対応終了、終結となる。

＜令和4年度、職員コロナ陽性者＞

事業所・部署	陽性者数	備考
特養	20名	看護2名、介護17名（2階6名、3階11名）、ケアマネ1名
デイ樹蔭	6名	看護1名、介護3名、運転手2名
デイ庵	3名	相談員1名、看護2名
ヘルパーあおやぎ	1名	介護1名
居宅さわらび	2名	ケアマネ2名
厨房	1名	調理員1名
合　計	33名	

⑶健康管理は、医務・介護が中心となり利用者の健康状態の把握に努め、体調不良の兆候が見られた際には、相談員や家族の協力のもと早めの受診を心掛けた。前年度入院日数は1,530日で今年度は1,003名と527日の大幅に減となった。その為、本入居の稼働率が上がり、SSの利用が減となったが、本来の目的でのベッド使用になった。又、令和4年11月に高知市より第8波に備えた取り組みとして、コロナ陽性者が確認された場合の協力医療機関の確保に努めるよう通知が有り、令和5年度より厚生病院からコロナ専用病床を有するいずみの病院へ協力医療機関を変更するように調整に取り組んだ。

⑷コロナ禍であったが、ガラス越し面会や施設内での小規模レクリエーションも不定期有ったが開催出来た。また、ノーリフケア推進委員会が中心になり、リフト等の福祉機器の活用や腰痛予防体操の実施で腰痛を訴える職員が激減した。各委員や各種会議も目的を持って計画的に取り組め、それぞれの目的達成と伴に、職員の意識向上にも取り組めた。

⑸令和4年度も、コロナ禍で施設外研修の開催が中止となる事が多く、Zoom研修が主流となった。感染症予防の為、限定的な外部研修となったが、認知症指導者研修1名、介護技能実習指導員研修2名、防災士2名等指導的立場で活躍出来る資格取得研修に参加出来た。又、内部研修でも配布資料の工夫や研修後の簡易の研修報告書を提出する事で理解度や疑問点・質問等が確認し、内容によっての個別指導・フォローが実施出来た。

令和４年度 デイサービス樹蔭事業報告書

１．令和４年度 基本方針

当事業所は、特養併設のデイサービスとして入居・ショート・ヘルパーステーションと密接な連携を図り、利用者の状況に合わせた対応ができるデイサービスである。屋台、陶芸教室、売店など独自の取り組みを行い、利用者一人ひとりが望む雰囲気、環境整備を行うことで個々の力を最大限に活用できるように働きかける。又、コロナ禍でも安心して利用が出来るように、体調異常の早期発見と感染症予防策の啓発を積極的に行う。

必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行う事により、介護給付事業については、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。

予防給付事業については、利用者の心身機能の維持回復を図り、利用者の生活機能の維持向上を目指す。

（感染症対策）

感染症の対策として、利用開始前の検温・手指消毒の実施。送迎車・デイルーム等は「密」にならないように換気を行う。又、濃厚接触者や感染リスクの高い方に対しては、感染リスクの説明し、理解を得た上で自宅待機等の依頼を行う。

（居宅との関わり）

樹蔭デイだよりやリーフレット等の活用を行う。又、体調の変化や利用日の変更がある場合には情報の共有を行うことで介護支援専門員と密接な関係を築く。

２．令和４年度稼働率目標　　１日平均 35 名（要介護 33 名・要支援２名）

３．業務内容

通所介護計画の立案、送迎、入浴、食事、健康管理、レクリエーション、リハビリテーション、個別レクリエーション、機能訓練（要介護者には、日常動作訓練、要支援者には必要に応じての運動機能向上訓練）及び在宅介護についての説明・助言や口腔機能向上訓練及び感染症対策、防災対策、地域交流・地域貢献などを実施する。又、若年性認知症には、個別のケアプログラムを立案し実施する。

令和４年度 基本方針・稼働率目標に基づいた業務内容を次のように行った。

令和４年度事業報告

１．事業内容

⑴区分　　通常規模型（6 時間以上 7 時間未満・7 時間以上 8 時間未満）

⑵利用定員　　55 人

⑶営業日及び営業時間　月曜日から土曜日（祝日含む）午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分

※日曜日及び 12 月 31 日～1 月 2 日は休業

２．職員の状況

⑴職員体制（令和 5 年 3 月 31 日現在）　　（単位：人）

	人　数		合　計
	常　勤	非常勤	
在宅課長兼生活相談員	1		1
管理者兼主任生活相談員	1		1
生活相談員兼介護職員	2		2
介護職員		7	7
看護職員		2	2
機能訓練指導員	1		1
運転手		1	1
	5	10	15

⑵採用・退職

		令和 4 年									令和 5 年			合計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
採用	パート			1	1	1					1			4
	派遣	1												1
退職	パート													
	派遣													

※採用は、入浴やリハビリ補助等の短時間パート

⑶職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）　　（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	13
新規採用者健康診断	2
腰痛健康診断	28

３．事業実績

⑴月別利用実績（延べ人数）　（単位：人）

		令和４年					
		４月	５月	６月	７月	８月	９月
		営業 26 日	営業 27 日	営業 26 日	営業 26 日	営業 27 日	営業 24 日
予防	要支援１	4	5	4	4	5	3
	要支援２	34	34	35	34	26	14
	小計	38	39	39	38	31	17
介護	要介護１	270	285	276	273	292	220
	要介護２	207	212	240	209	205	148
	要介護３	155	157	147	131	167	127
	要介護４	46	53	63	59	65	64
	要介護５	2	11	16	18	17	16
	小計	680	718	742	690	746	575
合　計		718	757	781	728	777	592

		令和４年			令和５年			合　計
		10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
		営業 26 日	営業 25 日	営業 25 日	営業 25 日	営業 24 日	営業 27 日	308 日
予防	要支援１	4	5	4	5	4	4	51
	要支援２	24	17	33	36	29	48	364
	小計	28	22	37	41	33	52	415
介護	要介護１	242	258	264	219	210	242	3,052
	要介護２	171	194	161	163	186	170	2,269
	要介護３	113	93	96	97	100	159	1,563
	要介護４	54	71	100	62	48	23	688
	要介護５	17	15	18	16	16	28	192
	小計	597	631	639	557	560	622	7,764
合　計		625	653	676	598	593	674	8,179

＜1 日平均利用者　令和３年度　28.9 名 ⇒ 令和４年度　26.6 名＞

※１日平均利用人数は、目標の　76.0%、前年度対比は　92.0%である。

※９月の第３週に利用者４名、職員３名が新型コロナウイルス陽性となった(感染経路不明)。同時期に、特養３階でクラスターが発生した為、自主的に２日間の休業対応を行った。

※年間を通じて新型コロナウイルスの感染リスクを考えた利用控え傾向が見られた。又、濃厚接触者や感染リスクが高い方に対しては、自宅待機を依頼し、利用数の減少に繋がった。

⑵サービス提供体制強化加算（Ⅰ）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
予防給付（実）	5	5	5	5	4	4	5	5	6	7	7	7	65
介護給付（延）	680	718	742	690	746	575	597	631	639	557	560	622	7,764
10 年超職員比率	32	43	46	50	50	52	50	49	44	48	48	48	―

※介護職員の総数のうち、勤続年数 10 年以上の者の割合が 25%以上配置で加算要件。

⑶入浴・月別利用者実績　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
入浴	469	529	550	529	578	456	468	486	520	454	463	523	6,052

＜前年度：5,974 名＞

※令和４年度の利用者に占める割合は、78.0%であった。（前年度 66.2%）

⑷個別機能訓練・月別利用者実績　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
機能訓練	592	575	658	595	652	452	515	534	515	454	481	566	6,589

＜前年度：6,797 名＞

※令和４年度の利用者に占める割合は、84.9%であった。（前年度 75.4%）

⑸居宅別利用者数内訳

（介護給付）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
さわらび	38	37	37	37	35	33	31	35	33	31	33	33	413
クララ	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	3	4
月ぬ美しゃ	3	3	3	3	5	5	5	4	4	4	3	3	45
まるごと応援隊	3	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3	39
はる	4	4	5	5	4	4	2	1	1				30
スタイル	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	28
土佐清風園	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
しもぢ	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19
ふくいの	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18
こはる	1	1	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	17
県庁生協	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
とらすと	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
はるの若菜荘	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
●あっとホーム			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
南国中央	1	1	1	1	1	1	1	1					8

●桂浜					1	1	1	1	1	1	1	1	8
トマトの樹		1	1	1	1	1	1	1	1				8
大川村	1	1	1	1	1	1							6
グランボヌール	1	1	1								1	1	5
ケアサポートあき								1	1	1	1	1	5
●かのん								1	1	1			3
●たんぽぽ										1	1	1	3
●アート									1	1			2
●わかば											1	1	2
合計	67	67	71	70	69	65	62	64	62	59	59	59	774

※●は営業活動により新規居宅が６件増加した。

（予防給付）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
さわらび	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	28
基幹型	1	1	1	1	1	1	2	2	2	4	4	4	24
やよい	1	1	1	1	1	1	1	1	2				10
トマトの樹										1	1	1	3
合計	5	5	5	5	4	4	5	5	6	7	7	7	65

※介護は、24 事業所中、居宅さわらびが約 53%（前年度 60%）を占めている。
　予防は、4 事業所中、居宅さわらびが約 44%（前年度 45%）を占めている。

⑹新規利用者・修了者の動向

①新規利用者

（介護給付）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
さわらび	3				1			3	2	1	2		12
まるごと応援隊	1				1								2
こはる			2										2
トマトの樹		1											1
あっとホーム			1										1
城見					1								1
月ぬ美しゃ					1								1
桂浜					1								1
クララ							1						1
ふくいの							1						1
ケアサポートあき								1					1
かのん								1					1
アート									1				1
たんぽぽ										1			1
ふたば											1		1

合計	4	1	3	0	5	0	2	5	3	2	3	0	28

（予防給付）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
さわらび							1						1
やよい									1				1
トマトの樹											1		1
合計	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3

②終了者

（介護給付）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
長期入院						1		5		1	1		8
入　　所	2		1			2				2	1		8
死　　亡				2	2	1						1	6
そ の 他				1	1	1	1			1			5
合　　計	2	0	1	3	3	5	1	5	0	4	2	1	27

前年度 23

（予防給付）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
長期入院					1		1						2
入　　所													0
死　　亡													0
そ の 他													0
合　　計	0	0	0	0	1	0	1	0	00	0	0	0	2

※新規利用は、31 名（前年度 32 名）。終了者は、29 名（前年度 27 名）と利用者数は微増であった。利用回数の多い方が終了（入院、入所等）となるが、利用回数が少ない新規利用者が多かった為、結果として延べ人数の減となった。

⑺日課表

時間		通所介護	介護予防通所介護
サービス提供時間（7時間～8時間）	8:30	朝礼 送迎（お迎え）	朝礼 送迎（お迎え）
	9:30	バイタルチェック （体温、血圧、脈拍、体重測定）	バイタルチェック （体温、血圧、脈拍、体重測定）
	10:00	ミーティング（送迎時等の共有） 入浴・水分補給 個別レクリエーション（創作・趣味活動）・塗り絵、計算ドリル、間違い探し、囲碁・将棋、陶芸（月３回）	ミーティング（送迎時等の共有） 入浴・水分補給 個別レクリエーション（創作・趣味活動）・塗り絵、計算ドリル、間違い探し、囲碁・将棋、陶芸（月３回）
	11:00	機能訓練リハビリ （パワーリハビリテーション等）	機能訓練リハビリ （パワーリハビリテーション等）
	12:00	リハビリ体操 かみかみ百歳体操	リハビリ体操 かみかみ百歳体操
	13:00	昼食、口腔ケア、排泄介助 休息タイム（お茶・休養）	昼食、口腔ケア、排泄介助 休息タイム（お茶・休養）
	14:00	いきいき百歳体操 集団レクリエーション（おじゃみ積み、手ぬぐい掛け、脳トレなど）	いきいき百歳体操 集団レクリエーション（おじゃみ積み、手ぬぐい掛け、脳トレなど）
	15:00	おやつ・水分補給 リハビリ体操	おやつ・水分補給・送迎（送り）
	16:00	排泄介助 ラジオ体操	
	16:45	送迎（送り） 清掃（消毒）、記録、翌日準備	清掃（消毒）、記録、翌日準備
	17:30	業務終了	業務終了

⑻年間行事実績

行事内容		実施日		延べ参加者数
定期	屋台	毎月（2回）	延べ24回	657
	売店	毎月（1回）	延べ12回	58
	陶芸	毎月（3日）	延べ36回	164
	お誕生日会	毎月（1～2日）	延べ20回	473
季節行事・不定期	季節レク（お花見）	令和４年	4月4日	27
	こいのぼり運動会		5月5日	25
	季節レク（梅雨）		6月10日	31
	デイ納涼祭		7月22日	28
	夏祭り		8月24日	28
	敬老会		9月19日	15
	運動会		10月11日	22
	季節レク		11月18日	23
	クリスマス忘年会		12月23日	0
	新年会	令和５年	1月13日	24
	節分		2月3日	23
	ひな祭り		3月3日	24

＜延べ参加者数：1,622名＞

４．年間研修実績

⑴外部研修（Ｚｏｏｍ研修も含む）

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和４年	4 月 20 日	地域交流室	介護サービスの目的や目標について	1
	2 月 13 日	相談室	高知県高齢者虐待防止・権利擁護研修	1
	2 月 20 日	相談室	老施協 LIFE 研修	1

＜延べ参加者数：3 名＞

⑵内部研修

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和４年	4 月 20 日	デイルーム	利用者対応、令和４年度事業計画（部会） 令和 4 年度事業計画(全体会)	7
	5 月 18 日	デイルーム	利用者対応、デイでの与薬について（部会） 感染症予防（全体会）	7
	6 月 15 日	デイルーム	利用者対応、新型コロナウイルス（部会） 災災対策（BCP）（全体会）	8
	7 月 20 日	デイルーム	利用者対応、感染症（部会/紙面研修） 科学的根拠に基づくケア（全体会）	14
	8 月 17 日	デイルーム	利用者対応、感染症（部会/紙面研修） 高齢者虐待と身体拘束について（全体会）	14
	9 月 21 日	デイルーム	利用者対応、新型コロナウイルス（部会） 感染症予防（全体会）	7
	10 月 19 日	デイルーム	事故報告・ヒヤリハット（部会） 感染症予防（全体会）	8
	11 月 16 日	デイルーム	利用者対応（部会） ノーリフティングについて（全体会）	7
	12 月 21 日	デイルーム	事故検討会（部会） 医療の知識：高齢者の基礎疾患（全体会）	8
令和５年	1 月 18 日	デイルーム	現在の事業所の収支について（部会） 高齢者虐待と身体拘束廃止について/事故防止について（全体会）	8
	2 月 15 日	デイルーム	次年度事業計画について、与薬について（部会） 認知症ケアについて（全体会）	7
	3 月 15 日	デイルーム	次年度事業計画の決定事項について（部会） 令和 5 年度事業計画（全体会）	6

＜延べ参加者数：101 名＞

5.総括

⑴令和4年度の収入実績は、前年度と比較すると92.0%、収入目標に対しては76.0%の実績となった。稼働日数308日で新規利用者は31名で前年度比96.9%となった。

延べ8,179名の利用があり1日平均利用者は26.6名で前年度比2.3名の減、年間延べ利用者は833名の減となり、目標を下回った。

居宅への営業を行う際はパンフレットを配布、項目ごとに作成し定期的に更新を行い、日々の様子を伝える事で新規利用に繋がった。又、月次報告書を送付時は一筆箋を同封、手書きで記載することで気持ちが伝わるよう努めた。

⑵新型コロナウイルスの対応として、職員・利用者ともにマスクの着用・手洗い・手指のアルコール消毒の実施、感染症が疑われる症状等がある場合には、出勤・利用の中止をおこなった。又、職員・利用者の体調だけでなく、同居家族の健康状態や県外往来者との接触状況やワクチン接種状況等を把握し感染予防に努めたが、6名の職員（介護3名、看護1名、運転手2名）がコロナ陽性となった。又、第7波の9月の第3週に利用者4名、利用者3名がコロナ陽性となり、同時期に特養3階でクラスターが発生した。デイサービス内でも感染症拡大が懸念された為、2日間の営業停止の措置とした。2日間の予定利用者は61名で大幅な減収となった。感染経路は家庭内感染やデイサービス利用中の感染が疑われるケース等、感染経路は様々であった。営業停止時に利用者の健康状態の確認を行い、営業再開前には、職員全員の抗原検査を実施して安心してデイサービスを利用して頂ける様に務めた。

⑶災害も発生して、9月17日に台風により17名（予定利用者数32名）がキャンセルとなり、利用者数を縮小しての営業と12月23日（予定利用者数31名）には積雪により、営業停止の措置を取った。

⑷リハビリについては、一昨年9月より個別機能訓練加算Ⅱ（単価：20/月）を適用、リハビリに関してのデータをLIFEにて厚生労働省に送信しているが、現時点では全国の集計値のみのフィードバックとなっており取組内容を比較することに留まっている。

集団レクリエーションでは、飛沫感染の恐れのあるカラオケ等は中止、自席で参加できるレクリエーションや脳トレを実施した。ホワイトボードを使っての脳トレは、利用者同士で問題を解くなど交流の場となっている。カラオケを希望する利用者には現在の状況を説明することで感染症予防に対し理解して頂けた。

⑸施設外研修は、新型コロナウイルスの影響で中止やオンライン研修が中心であった為、オンラインでの研修参加のみとなった。施設内研修では年間研修計画を基に全体会を行い、部署単位で検討事項や在宅サービスに必要な研鑽を部会で実施した。

⑹苦情に関しては、ケアに関することと、送迎に関することの3件であった。又、事故に関しては、薬の飲ませ忘れの1件であった。

デイサービスセンター庵 事業報告書

１．令和４年度 基本方針

当事業所は、本部事業所と密に連携を図りながら、利用者の心身の状況に合わせた対応が出来る地域密着型の小規模デイサービスである。利用者ニーズに沿った日課やレクリエーションを実施。又、送迎時には、「当該施設から自宅の玄関まで」ではなく、心身の状況や利用者・家族ニーズにより、起床・臥床介助や荷物の準備も行う。一人暮らしの利用者には生活上必要とされている事（ゴミ捨て確認や援助）等にも対応できる事が大きなセールスポイントである。

（介護給付事業）

・要介護状態になった場合においても、その利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤独感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。又、利用者の要介護状態の軽減又は悪化の予防に資するよう、その目的を設定し計画的に行う。

（関係機関との連携）

・通所介護の実施にあたっては、居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、その他保険医療サービスや福祉サービスを提供する者及び行政機関との密接な連携を図りながら、総合的・効果的なサービス提供に努める。

２．令和４年度 稼働率目標

1 日平均 12 名

３．令和３年度 業務内容

通所介護計画の立案、送迎、入浴、食事、機能・日常動作訓練、健康チェック、レクリエーション及び感染症対策、防災対策、地域交流・地域貢献などを実施する。

令和４年度 基本方針・稼働率目標に基づいた業務内容を次のように行った。

令和４年度 事業報告

１．事業内容

⑴区分　　地域密着型（7 時間以上 8 時間未満）

⑵利用定員　　15 名

⑶営業日及び営業時間　月曜日から金曜日（祝日含む）午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分

※土・日曜日及び 12 月 31 日～1 月 2 日は休業

２．職員の状況

⑴職員体制（令和５年３月 31 日現在）　　（単位：人）

	人　数		合　計
	常　勤	非常勤	
管理者兼生活相談員	1		1
生活相談員兼介護職員	1	1	1
介護職員		2	2
看護職員兼機能訓練指導員		3	3
調理師		1	1
運転手		1	1
合　計	2	8	⑽

⑵採用・退職

		令和４年									令和５年			合計
		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
採用	パート										1		1	1
	派遣					1								1
退職	パート					1				1			1	3
	派遣													0

⑶職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）　　（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	9
新規採用者健康診断	0
腰痛健康診断	15

３．事業実績

⑴月別利用実績（延べ人数）　　（単位：人）

		令和４年					
		４月	５月	６月	７月	８月	９月
		営業 21 日	営業 22 日	営業 22 日	営業 21 日	営業 22 日	営業 21 日
介護	要介護１	131	101	94	97	107	96
	要介護２	40	61	61	47	47	45
	要介護３	14	12	12	10	4	2
	要介護４	30	30	31	28	32	24
	要介護５	9	6	9	11	10	6
合　計		224	210	207	193	200	173

		令和４年			令和５年			合　計
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
		営業 21 日	営業 22 日	営業 21 日	営業 21 日	営業 20 日	営業 23 日	257 日
介護	要介護１	109	110	103	106	83	104	1,241
	要介護２	51	63	48	57	53	78	651
	要介護３	2		1			3	60
	要介護４	8	9	9	9	17	14	241
	要介護５	6	9	5	7	8	7	93
合　計		176	191	166	179	161	206	2，286

＜1 日平均利用者　令和 3 年度 10.7 名 ⇒ 令和 4 年度 8.7 名＞

※1 日平均利用人数は、目標の 72.5%、前年度対比は 81.3%である。

※令和 3 年度と比較し一日利用者平均が 2 名も減となった。原因は死亡、入居、介護より要支援になり利用できなくなった等の減少に加え、コロナ禍で体験利用者も少なく、新件、利用日増加だけでは減少を上回る事が出来なかった。

⑵サービス提供体制強化加算（Ⅰ）　（単位：人・%）

	令和４年									令和５年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
介護給付（延）	224	210	207	193	200	173	176	191	166	179	161	206	2,286
介護福祉士比率	43	43	45	38	35	33	30	31	28	30	24	29	―

※介護職員のうち、10 年以上の介護福祉士の割合が 25%以上配置されていれば加算要件をクリア。

令和 4 年 2 月は、職員のコロナウイルス感染によるものであり介護報酬の減額は無い。

⑶入浴・月別利用者実績　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
入浴	171	167	167	164	161	133	125	137	117	138	129	163	1,772

＜前年度 2,036 名＞

※令和 4 年度の利用者に占める割合は、77.3%であった。（令和 3 年度 73.0%）

⑷個別機能訓練・月別利用者実績　（単位：人）

	令和３年									令和４年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
機能訓練	212	210	208	193	200	176	177	191	166	179	161	206	2,279

＜前年度 2,435 名＞

※令和 4 年度の利用者に占める割合は、99.4%であった。（令和 3 年度 87.3%）

⑸居宅別利用者数内訳

（介護給付）　　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
さわらび	11	11	11	10	10	9	8	8	8	9	9	10	114
トマトの樹	7	5	6	6	4	4	5	5	5	5	4	5	61
やよい	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	17
はる	2	2	2	2	0	1	1	1	1				12
ふくいの	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
まるごと応援隊	1	1	1	1	1	1					1	1	8
あかり	1	1	1	1	1	1	1						7
グランボヌール					1	1	1	1	1	1	1	1	8
計	24	22	23	22	20	20	19	18	18	17	17	19	239

※介護は、８事業所からの利用があり、居宅さわらび（60.2%）と居宅トマトの樹（25.5%）の２事業所で85.7%を占めている。

⑹新規利用者・終了者の動向

①新規利用者

（介護給付）　　（単位：人）

	令和３年									令和４年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
トマトの樹		1	1			1			1			1	5
さわらび					1					1	1	1	4
やよい					1								1
グランボヌール					1								1
計	0	1	1	0	3	1	0	0	1	1	1	2	11

＜前年度：６名＞

②終了者

（介護給付）　　（単位：人）

	令和４年									令和４年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
長期入院		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
入　　所	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	4
死　　亡	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
そ の 他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	5
計	0	1	0	1	3	0	1	1	0	4	1	2	14

＜前年度：８名＞

※利用終了者が令和３年度８名から令和４年度14名と増加、新規利用者令和３年度６名から令和４年度11名受け入れをしたが、新規利用迄にタイムラグがあった。

⑺日課

	時間	通所介護
サービス提供時間（7時間以上8時間未満）	8:30	朝礼
		送迎（お迎え）検温
	9:30	バイタルチェック（体温、血圧、脈拍、体重測定）
	10:00	ミーティング（送迎時等の共有）
		入浴・水分補給
		個別レクリエーション（創作・趣味活動）
		・塗り絵、計算ドリル、間違い探し、脳トレ（数字盤）
		機能訓練リハビリ
	11:30	リハビリ体操、かみかみ百歳体操、検温
	12:30	昼食、口腔ケア、排泄介助
		休息タイム（お茶・休養）連絡ノート写真貼り
	14:00	いきいき百歳体操、ラジオ体操、ボール体操、脳トレ体操
	15:00	おやつ・水分補給
	15:20	集団レクリエーション（おじゃみ積み、手ぬぐい掛け、脳トレなど）
	16:00	排泄介助
	16:45	送迎（送り）
		清掃（消毒）、記録、翌日準備
	17:30	業務終了

⑻年間行事実績

行事内容		実施日		延べ参加者数
定期	誕生日会	利用者の誕生日前後		119 名
	避難訓練（火災）	令和 4 年	5 月 17 日	9 名
	避難訓練（地震・浸水）		10 月 10 日	10 名
季節行事・不定期	こいのぼり運動会	令和 4 年	5 月 5 日	8 名
	お茶会		6 月 7 日	10 名
	七夕祭り		7 月 7 日	10 名
	夏祭り（よさこい祭り）		8 月 9 日、10 日	15 名
	長寿を祝う会		9 月 13 日	6 名
	敬老会		9 月 21 日	7 名
	大運動会		10 月 14 日	10 名
	芋ほり大会		11 月 30 日	9 名
	クリスマス忘年会		12 月 26 日	8 名
	新年会	令和 5 年	1 月 3 日	11 名
	節分		2 月 3 日	9 名
	ひな祭り		3 月 3 日	11 名

＜延べ参加者数　令和 3 年度：261 名 ⇒ 令和 4 年度：252 名＞

※全ての利用者がまんべんなく楽しめるよう実施日を増やした。

４．年間研修実績

(1) 外部研修（Ｚｏｏｍ研修も含む）

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和５年	２月 20 日	本部相談室	老施協 LIFE 研修（オンライン）	1

(2) 内部研修

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和４年	４月 26 日	部会：庵事務室 全体会：さわらび本部	全体会（施設理念、法令遵守）	９名
	４月 20 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	９名
	５月 18 日		全体会（感染症予防）	９名
	５月 31 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待、感染症）	９名
	６月 14 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	９名
	６月 15 日		全体会（災害対策・BCP）	９名
	７月 20 日		全体会（科学的根拠に基づくケア）	９名
	７月 29 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	９名
	８月３日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待、感染症）	９名
	８月 17 日		全体会（高齢者虐待と身体拘束、事故防止）	９名
	９月 14 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	９名
	９月 21 日		全体会（感染症予防）	９名
	10 月 19 日		全体会（感染症予防）	９名
	10 月 28 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	９名
	11 月 16 日		全体会（ノーリフティング）	９名
	11 月 30 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待、感染症）	９名
	12 月 21 日		全体会（医療の知識、高齢者の基礎疾患）	９名
	12 月 26 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	９名
令和５年	１月 18 日		全体会（高齢者虐待・身体拘束廃止、事故防止）	９名
	１月 31 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	９名
	２月 15 日		全体会（認知症ケア）	９名
	２月 17 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待、感染症）	９名
	３月 15 日		全体会（令和５年度事業計画）	９名
	３月 30 日		部会（事故防止委員会、高齢者虐待）	９名

＜延べ参加者数（紙面含む）令和３年度 111 名　⇒　令和４年：216 名＞

※部会では年間研修計画に沿った研修内容で実施し、マニュアル確認も行った。紙面参加者で不明点等あれば個別で対応した。全体勉強会においても感染症対策の為紙面での勉強会が多くなったが研修報告書提出により各職員の理解度を確認する事が出来た。

５．総括

⑴令和４年度の収入実績は、前年度と比較すると 81.3%、収入目標に対しては 72.5%の実績となった。稼働日数は 257 日で新規利用者は年間 11 名であった。延べ 2,291 名の利用があり１日平均利用者は 8.7 名で前年度比 2.0 名の減、年間の延べ利用者数は前年度 2,789 名と比べ 498 名の減となった。原因としては、入居や入院、介護より要支援等の減少対して、新規利用者獲得とが追い付かず目標達成出来なかった。

⑵新型コロナウイルス感染症への感染症予防策でデイサービスの利用控えの利用者は減少傾向であったが、コロナ陽性による自宅療養の利用者が居た。その為、療養回復期に体力筋力維持が出来るように考え、自宅で出来る体操・口腔体操や脳トレプリント等、手紙や写真を添えてポスティング等、心身状態維持の支援を試みた。利用者や家族から「嬉しかった」「ありがたい」との声も複数頂いた。又、稼働率維持の為、受診等による休みには利用曜日の振替変更や利用日数の調整も積極的に提案した。

前年度にはコロナウイルス感染者 0 名だったが、本年度は利用者 3 名と職員 3 名（看護 2 名、介護 1 名）陽性となった。小規模デイの為、少ない職員での勤務繰りにとても苦労した。職員全員が他職種の業務をフォローした。調理面では、本部にも協力依頼し食事を作ってもらい、運搬し、提供した。デイサービスを中止することなく営業出来たのは、本部及び庵職員の協力が大きかった。。又、施設長への報告・相談を迅速にし、一定期間出勤・利用の中止を行う事で、クラスターを防げた為、さらなる稼働低下を防ぐことが出来た。

⑶年間行事では、より多くの利用者に参加して貰える様、カレンダー上同じ曜日になる行事（敬老会等）は内容を変え 2 回開催した。レクリエーションでは、利用者の手作りカレンダーに加え、持ち帰りできる作品を作成し展示、その後、持ち帰って貰い自宅でも達成感を感じてもらえるようにした。行事や作品作りの様子は写真撮影し表情は勿論、参加した事が振り返りわかる様に掲示をした。写真も同様、持ち帰る事で家族にも楽しんでいる様子を伝える事ができ喜ばれた。家族とは連絡帳以外にも平時と違う様子や体調等あれば電話やメールにて報告し体調変化にも迅速に対応出来るよう努めた。又、同時に居宅ケアマネジャーとの連携も迅速に行った。

⑷施設内研修では年間研修計画を基に行い、部署単位で検討事項や在宅サービスに必要な研鑽を部会で実施した。

ヘルパーステションあおやぎ 事業報告

１．令和４年度 基本方針

・利用者の在宅生活継続の為に、生活の質の向上や自立支援を目標とし関連機関との連携を図りながら認知症やうつ病、看取り等の困難なケースにも対応ができるようヘルパーの資質向上を図る。

（介護給付事業）

要介護状態にある利用者に対して、適切な指定訪問介護を提供することを目的とする。

（予防給付事業）

要支援状態にある利用者に対して、昨日の維持及び向上を図り、「目標指向型」の適切な指定介護予防訪問介護を提供することを目的とする。

２．令和４年度稼働率目標　　利用者数 60 名（現状維持～微増）とする。

３．業務内容

⑴提供するサービス内容（身体介護、生活援助）

⑵自己研鑽　　⑸多機能連携

⑶利用者満足　　⑹感染症や災害への対応力強化

⑷自立支援　　⑺地域貢献・社会貢献

令和４年度 基本方針・稼働率目標・業務目標に基づいた業務内容を次のように行った。

令和４年度事業報告

１．事業内容

令和５年３月 31 日現在　登録者 49 人（内予防給付 16 人）

２．営業日及び営業時間

月曜日から土曜日　午前８時 30 分から午後５時 30 分　（但し、12 月 31 日から１月２日迄は除く）

３．通常の事業実施地域

高知市、南国市

４．職員の状況

⑴職員体制（令和５年３月 31 日現在）　（単位：人）

	人　数		合　計
	常　勤	非常勤	
在宅課長兼サービス提供責任者	1		1
サービス提供責任者兼訪問介護員		1	1
訪問介護員（介護福祉士）		1	1
訪問介護員（ヘルパー2 級）		3	3
合　計	1	5	6

⑵採用・退職

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
採用：パート							1					1	2
退職：パート					1			1					2

⑶職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）　（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	4
新規採用者健康診断	2
腰痛健康診断	10

５．提供するサービスの内容

⑴身体介護：食事介助、排泄介助、入浴介助、起床介助、就寝介助、衣類着脱介助、整容介助、身体清拭介助、洗髪介助、体位変換、服薬管理、通院介助等

⑵生活援助：調理、洗濯、掃除、買物、薬の受取り、衣類の入替え等

６．事業実績

⑴介護度別稼働時間　（単位：分）

		令和４年					
		４月	５月	６月	７月	８月	９月
予防給付	要支援１	11：30	16：00	21：15	25：45	26：15	19：00
	要支援２	36：45	36：30	39：00	32：45	32：15	30：45
	小　計	48：15	52：30	60：15	58：30	58：30	49：45
介護給付	要介護１	87：15	82：30	72：45	78：15	66：45	68：15
	要介護２	96：00	100：15	89：15	81：45	83：45	52：15
	要介護３	17：30	13：00	13：00	14：00	16：00	19：00
	要介護４	―	15：30	19：30	29：00	23：45	17：30
	要介護５	―	―	―	―	―	―
	小　計	221：30	211：15	194：30	203：00	190：15	157：00
合　計		263：45	263：45	254：45	261：30	248：45	206：45

		令和４年			令和５年			合　計
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
予防給付	要支援１	15：00	19：45	13：30	7：45	17：00	18：15	210：30
	要支援２	32：00	28：30	31：45	31：00	31：00	46：45	407：00
	小　計	47：00	48：15	45：15	38：45	48：00	65：00	617：30
介護給付	要介護１	79：45	87：45	78：15	62：45	59：00	72：45	900：00
	要介護２	48：15	45：45	43：00	51：15	49：45	51：45	791：30
	要介護３	26：00	16：00	12：00	24：45	29：15	25：30	172：30
	要介護４	3：00	14：00	10：00	3：00	1：00	3：00	159：45
	要介護５	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00	0：00
	小　計	147：30	162：30	143：15	128：30	119：00	141：45	2,023：45
合　計		194：30	210：45	188：30	167：15	167：00	206：45	2,641：15

＜前年度、予防・介護の合計は 3,116 時間＞

※予防給付が約 23.5%、介護給付が約 76.5%で、要介護 1 が約 33.9%と割合が多かった。予防（基幹型）の新件が増え、介護の利用者が入院・入所等により減少。

⑵介護報酬加算件数　（単位：件）

		令和４年									令和５年			合計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
初回加算	予防	2	1	3		1	2				2		2	13
	介護	2	2	3	1	2	1	6		1	4	1	4	27

⑶居宅別利用者内訳

（介護給付）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
さわらび	13	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	127
海の里	10	9	10	10	10	9	4	5	4	4	4	3	82
一宮	6	6	5	6	5	6	4	4	3	4	3	5	57
城見	3	4	4	5	5	4	5	5	5	4	4	5	53
トマトの樹	1	2	2	2	2	2	3	2	2	1	1	1	21
県庁生協	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	21
スタイル	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
たんぽぽ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
りんくす	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
かのん	3	2	3	3	1	1	1	1	1	1			17
はる		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
こ結び						1	1	1	1	1	1	2	8
グランボヌール			1	1	1	2				1	1		7
はる西									1	1		1	3
こうせい	1	1											2
あかり						1	1						2
マリン											1	1	2
クララ												1	1

合計	44	43	44	46	43	44	37	36	35	34	32	36	474

＜前年度：534 件＞

※新件の依頼はあるが、ヘルパー不足の為に受け入れ出来ず減となる。

（予防給付）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
基幹型	6	6	7	7	7	8	6	7	6	5	6	6	77
さわらび	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
かのん	1	1	3	3	4	4	2	2	2	2	2	2	28
一宮	1	1	1	1						1	1	1	7
南国市	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	11
まるごと応援隊	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
海の里	2	2	2	2	2	2	2		1	1	1	1	18
グランボヌール										1	1	1	3
こ結び												1	1
トマトの樹												1	1
合計	13	13	16	16	16	17	12	12	12	13	14	16	170

※介護は、18 事業所（5 事業所増）からの利用があり、居宅さわらびが約 27.0%を占めているが前年度（42.8%）より減。予防は、10 事業所からの利用があり、基幹型が約 45.2%を占めている。

⑷新規利用者・修了者の動向

①新規利用者

（介護給付）　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
さわらび							2				1		3
一宮	1					1						1	3
城見			1				1					1	3
グランボヌール			1			1							2
はる		1			1								2
こ結び							1					1	2
かのん					1		1						2
たんぽぽ	1												1
はる西									1				1
あかり						1							1
トマトの樹		1											1
クララ												1	1
海の里			1										1
合計	2	2	3	0	2	3	5	0	1	0	1	4	23

（予防給付）　　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
基幹型	2	1	1										4
かのん			2										2
グランボヌール										1			1
一宮										1			1
こ結び												1	1
トマトの樹										0		1	1
合計	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	0	2	10

②終了者

（介護給付）　　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
さわらび	1				1	1		1				2	6
海の里	1			1	2				1			1	6
かのん				1		1							2
グランボ―ヌール						2							2
一宮						1	1						2
城見				1					1				2
トマトの樹									1				1
こうせい		1											1
あかり						1					0		1
県庁生協										1			1
はる西										1			1
合計	2	1	0	3	3	6	1	1	3	2	0	3	25

（予防給付）　　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
基幹型								1					1
かのん							1						1
一宮					1								1
合計	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3

４．年間研修実績

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和４年	4 月 20 日	ヘルパー室	生活援助について	9
	5 月 18 日	ヘルパー室	医学的基礎知識について	8
	6 月 22 日	ヘルパー室	認知症について①	8
	7 月 20 日	ヘルパー室	介護技術について	8
	8 月 24 日	ヘルパー室	高齢者虐待について①	7
	9 月 21 日	ヘルパー室	高齢者虐待について②	6
	10 月 19 日	ヘルパー室	感染予防について（新型、コロナ）	5
	11 月 18 日	ヘルパー室	ベルパーの資質について	7
	12 月 21 日	ヘルパー室	高齢者の基礎疾患について	5
令和５年	1 月 19 日	ヘルパー室	認知症について②	5
	2 月 1 日	ヘルパー室	防災について	5
	3 月 15 日	ヘルパー室	ヘルパーの資質について	6

＜延べ参加者数：79 名＞

５．総括

⑴令和４年度は、年間を通じて新規依頼があり、可能な範囲で受入れを行ってきたが、登録ヘルパーの退職や時間帯・訪問距離等で、断らざるを得ないケースも多くあった。収入実績は前年度対比98%、目標達成率 81.6%と目標達成には届かなったが、6 月：61 名 7 月：62 名と目標達成出来た月もあった。

⑵今年度は家庭の事情や高齢を理由に 2 名のヘルパーの退職があり、稼働率減少の要因となった。そのため、特養からの兼務や 2 名の新規登録ヘルパーの採用を行い稼働率回復に努めた。

⑶訪問時には、利用者や家族の気持ちに寄り添い、適切な事業が実施できるよう、「気づき」のあるサービス提供に心掛けた。又、昨年度に引き続き、積極的に男性ヘルパー営業を実施し、ある一定のニーズは有ったが、相対的に利用者が多かった事もあり同性の女性ヘルパーの希望が多かった。

⑷ターミナル・精神疾患の利用者の受け入れを行い、利用者や家族の状態に応じて、居宅介護支援事業所との連携を図り、緊急時訪問など臨機応変に対応出来た。

⑸研修については、コロナ禍の影響と職員体制により、残念ながら外部研修の参加が出来なかった。
　その為、年間を通じて全ヘルパーが内部研修に参加し、自己研鑽に努めた。

⑹新型コロナウイルスへの対応としては、マスクの着用・手洗い・手指のアルコール消毒の実施、感染症が疑われる症状等がある場合には、出勤・利用の中止の対応を行った。又、職員・利用者の体調だけでなく、利用者やヘルパーの同居家族の健康状態や県外往来者との接触状況等またワクチン接種状況等の把握し感染予防に努めた。職員のコロナ陽性は、1 名であった。

居宅介護支援事業所さわらび事業報告書

１．令和４年度基本方針

居宅介護支援事業所は、その利用者が要介護状態になった場合においても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるように考慮して支援を行う。

適切に保健医療サービスおよび福祉サービス等との連携に十分に配慮しながら総合的にかつ効果的に支援する。

利用者の意見及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、多数の事業所から希望に沿った事業所の選定を行う。

２．令和４年度目標実績数

居宅サービス計画作成数（要介護 1～5）　138 件/月・1,656 件/年

介護予防サービス計画作成数（要支援 1・2）　28 件/月・ 336 件/年

３．居宅介護支援事業所の内容

身体状態、介護状態、居住環境、現在利用しているサービスや家族等の在宅介護力を課題分析し、解決すべき課題を把握し、在宅生活おける問題点を明確にする。

・アセスメントの実施
・ケアプラン作成
・サービス担当者会議の開催・意見の聞き取り
・ケアプランの説明・交付・同意
・月１回のモニタリング
・必要時の再アセスメントの実施に伴うケアプランの変更
・要介護認定の申請・更新・変更
・福祉用具購入や住宅改修の申請代行
・給付管理等

令和４年度基本方針及び目標実績数・業務内容に基づき、次のように行った。

令和４年度事業報告

１．事業内容

⑴営業日及び営業時間

月曜日から金曜日（祝日含む）午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分

※日曜日及び 12 月 29 日～1 月 3 日は休業

⑵通常の実施地域

高知市、南国市、香南市

２．職員の状況

⑴職員体制（令和５年３月 31 日現在）　（単位：人）

	人数		合計
	常　勤	非常勤	
管理者兼主任介護専門員	1	―	1
介護専門員	3	―	3
合　計	4	―	4

⑵職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）　（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	4

３．事業実績

⑴月別利用実績　（単位：人）

		令和４年					
		４月	５月	６月	７月	８月	９月
予防	要支援１	9	9	9	9	9	9
	要支援２	13	13	13	13	14	13
	小計	22	22	22	22	23	22
介護	要介護１	52	48	47	48	48	45
	要介護２	33	33	35	35	35	33
	要介護３	21	21	21	18	17	20
	要介護４	11	11	12	12	13	12
	要介護５	7	8	9	9	9	9
	小計	124	121	124	122	122	119
合　計		146	143	146	144	145	141

		令和４年			令和５年			合計
		10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	
予防	要支援１	11	10	12	12	11	11	121
	要支援２	15	14	13	12	12	13	158
	小計	26	24	25	24	23	24	222
介護	要介護１	47	51	50	50	52	54	592
	要介護２	36	35	36	37	35	32	415
	要介護３	17	15	17	17	17	19	220
	要介護４	10	12	12	12	10	10	137
	要介護５	9	9	6	6	7	7	95
	小計	119	122	121	122	121	122	1,459
合　計		145	146	146	146	144	145	1,681

＜前年度：　1,906 人＞

※令和４年３月にケアマネジャーが退職となり、未経験のケアマネジャーを採用する。上半期は新件の受け入れ調整を行った為、利用実績の減となった。

⑵各加算実績

（介護給付）　　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
初回加算	2	0	2	4	4	2	5	6	4	2	5	4	40
特定事業所加算Ⅱ	124	121	124	122	122	119	119	122	121	122	121	122	1,459
入院時情報連携加算Ⅰ	5	4	9	3	8	8	6	5	7	7	6	6	74
入院時情報連携加算Ⅱ	1												1
退院・退所加算（Ⅰ）イ	3	3	2	1	1	4	4	2	3	2	1	4	30
退院・退所加算（Ⅱ）イ			1										1
通院時情報連携加算	2	4	7	4		2	2	1	3	3	5	3	36

（予防給付）　　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
初回加算				1	2		3	1	1			2	10
委託連携加算				1	2		3	1	1			1	9

※上半期は新件受け入れ調整を行った影響もあり、初回加算は減となるが、その他の加算については、前年度と同等であった。

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
担当者会議	25	29	25	29	33	31	35	32	27	29	30	32	357
モニタリング	146	143	146	144	145	141	145	146	146	146	144	145	1,681

※担当者会議・モニタリングは、感染予防として訪問・面談・電話相談を状況に応じた対応を行った。

⑷年間事業所別利用者数内訳

①通所介護・通所リハ事業所　　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
【通所介護】													
樹蔭	36	35	34	31	32	30	29	31	31	32	32	29	382
ニチイケアセンター	5	6	6	7	7	7	6	6	6	6	5	5	72
ツクイ東雲	4	4	5	4	5	5	5	5	6	6	6	8	63
リハライフ卸団地	4	4	4	4	6	5	4	5	6	6	4	4	56
トマトの樹	4	4	4	4	4	4	5	6	5	5	3	5	53
梅一輪	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	34
なぎさ	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	22
ライラック	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16
スタイル高須	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16
リハライフ高須	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
西田順天堂	2	2	2	2	1	1	1	1	1				13

いとう	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
あおぞら	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
グランボヌール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
たくさん	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
アシストジャパン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10
そよ風					1	1	1	1	1	1	1	1	8
ジョイリハ高須				1	1	1	1	1	1			1	7
りんくすせかんど									1	1	1	1	4
合計	71	71	70	67	70	67	64	68	71	70	64	66	819
【地域密着型通所介護】													
庵	11	11	11	10	10	10	8	8	9	9	10	12	119
ロミ	7	7	6	5	5	5	5	5	4	3	4	5	61
北新田	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37
ひらり	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
わたぼうし種崎	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
アルコデイトレセンター	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18
マイガーデン	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	18
IMC うぐるす	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ときめき	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ウィークリハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ながおか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
暖	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
こはる				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
愛結こうち												1	1
合計	34	32	31	31	31	31	29	29	29	28	30	34	369
【認知症対応介護】													
地球 33 番地											1	1	2
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
【通所リハビリテーション】													
青柳	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
いとう	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23
こうせい	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
さんさんクリニック						1	1	1	1	1	1	1	7
きむら	1	1	1										3
合計	7	7	6	5	5	6	6	6	6	6	6	5	71

※通所介護の傾向として、日曜日利用可能施設を希望する傾向が増加。

認知症対応型介護、小規模の特色あるデイの利用等、利用者の意向に沿った紹介を行う事が出来た。

②訪問介護・訪問看護・訪問リハビリ・入浴事業所　（単位：人）

	令和 4 年									令和 5 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
【訪問介護】													
あおやぎ	13	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	127
ほのか	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	5	7	55
なかよし	3	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	49
はる	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	22
桂浜	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1	0	19

フレンズ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ウェルライフ上町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ニシダ順天堂	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ニチイ高知	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ソレイユ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ベターライフ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ニチイ南国	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	11
朝日サービス	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
りんくす				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
ニチイ高知東		1				1	1				1	1	5
ハッピーケア高知	1	1	1										3
青柳	1	1											2
やまもも												1	1
ゆいまある												1	1
合計	34	34	33	34	34	31	31	30	31	29	30	34	385
【訪問看護】													
海の里	6	5	5	5	5	5	6	6	4	4	6	6	63
リカバリー高知	3	3	3	2	3	3	2	2	2	2	2	2	29
誠	2	2	2	2	2	1	2	3	3	3	3	3	28
心愛	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
そらとこころ	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
はる	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
たかす	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
いずみの病院	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
POSTNs	1	1	1	1	1	1		1			1	1	9
高知中央	1	1	1	1	1	1							6
れいんぼー	1	1	1	1	1								5
AID								1	1	1	1	2	6
はっぴぃ＆へるす												1	1
城見												1	1
合計	21	19	19	17	18	16	15	18	15	15	18	21	212
【訪問リハビリテーション】													
うめのつじ	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	41
愛宕病院リ	1	1	1										3
すこやかな杜	1												1
合計	5	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	45
【定期巡回・訪問介護看護】													
アート			2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	23
ナースケア	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ナースケアⅡ	1	1											2
ナースケア南国		1											1
合計	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	38
【小規模多機能】													
トマトの樹	1											1	2
合計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

※訪問介護は、ヘルパーの利用希望者が少なかった。又、訪問頻度の高い利用者は、定期巡回の包括的サービスの紹介を行った。

訪問看護は、言語聴覚士等配置のある事業所で、口腔機能向上の専門的なサービスが利用出来るよう

紹介を行った。
定期巡回や小規模多機能等、在宅生活が困難になりつつある利用者については、住み慣れた地域でこれからも生活できるよう、包括的サポートができるよう紹介を行った。

③短期入所生活（療養）介護事業所　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
早蕨	11	15	14	14	13	7	14	12	11	10	8	7	136
海の里	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	4	37
トマトの樹	1	1	2	1	1	1	1	1	3	2	3	2	19
絆の広場	1		2	2	1	3	1	1	1		1	1	14
グランボヌール		1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	10
そよ風					1	1	1	1	1		1	1	7
しなね								1		1	1	1	4
ふるさとの丘					1								1
あったかケアみずき						1	1			1	1		4
ピアハウス						1							1
合計	17	21	23	21	20	18	22	20	19	17	17	17	233

※核施設でコロナのクラスターにより、ショート受け入れ困難となるケースが発生。利用実績の減となった。

④福祉用具貸与事業所　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
トーカイ	24	25	26	24	22	21	18	18	20	19	17	16	250
アルフレッサ	12	10	12	12	12	12	12	13	13	13	13	12	146
土佐ガス aico	12	11	11	11	11	12	12	12	11	11	14	14	142
四国医療	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	81
翼高知	6	6	6	7	7	5	7	7	7	7	7	7	79
共栄医療器	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	59
PLASS G	4	4	4	4	3	4	3	1	2	4	5	4	42
オフィスウエハラ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
ミニパック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
石原産業	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8
マサキウエルフェア	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	7
合計	73	71	74	73	71	70	68	67	70	71	72	70	850

※前年度との利用実績の変化なし。

⑤居宅療養管理指導　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
みなみ在宅クリニック	4	3	4	4	4	4	3	3	2	3	4	4	42
あじさい薬局	3	3	3	3	3	3	2	3	2	2	2	2	31
ひまわり在宅クリニック	3	3	3	3	3	2	2	3	2	1	3	3	31
高知生協病院	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

エール薬局たかす	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
上町薬局	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ブルークロス					1	1	1	1	1	1	1	1	8
つちばし薬局									1	1	1	1	4
あおぞら診療所			1		1	1							3
エール薬局かづらしま											1	1	2
あっぷるふぁ～ましい	1												1
合計	16	14	16	15	17	16	13	15	13	13	17	17	182

※受診困難な利用者に訪問診療や薬剤師の訪問サービスを紹介し、定期受診・服薬管理の支援が行えた。

⑸新規利用者・修了者の動向

①新規利用者　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
予防給付				1	2		3	1	1			1	9
介護給付	2		2	4	4	2	5	6	4	2	5	4	40
合計	2		2	5	6	2	8	7	5	2	5	5	49

※上半期新規受け入れ調整を行った為、介護給付利用者は減少したが、病院や包括からの紹介や申請中の利用者も積極的に受け入れ、予防給付利用者は増加した。

②終了者　（単位：人）

	令和４年									令和５年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
死亡			2	1	2	2	2				2		11
入所					1	1	1	1					4
入院	1		1			1							3
その他	1			1	1	1		1	2	1	1	1	10
合計	2	0	3	2	4	5	3	2	2	1	3	1	28

４．年間研修実績

⑴外部研修（Ｚｏｏｍ研修も含む）

①東部ブロック会

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和４年	４月21日	高知市保険福祉センター	高知市居宅介護支援事業所協議会総会	３名
	５月12日	東部健康福祉センター	高知医療センター救急外来での帰宅支援	２名
	６月９日	東部健康福祉センター	キャリアラダーモデル活用について	１名
	７月13日	東部健康福祉センター	排泄予測支援機器の説明	１名
	10月13日	東部健康福祉センター	ゲートキーパーについて	１名
	11月10日	東部健康福祉センター	感染症について	１名
	12月８日	東部健康福祉センター	看取りに関する取り組み	１名
令和５年	１月18日	東部健康福祉センター	ハラスメントについて	１名
	３月９日	東部健康福祉センター	ブロック会の反省と次年度の研修内容について	１名

＜延べ参加者数：12名＞

②スーパービジョン

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和４年	６月 15 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	１名
	６月 16 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	１名
	10 月 20 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	１名
	10 月 21 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	１名
	12 月 15 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	１名
	12 月 16 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン	１名

＜延べ参加者数：６名＞

③その他

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和４年	５月 27 日	地域交流室（Zoom）	生活困窮者への医療支援	１名
	６月３日	地域交流室（Zoom）	自立を目指すケア研修会	４名
	６月 17 日	地域交流室（Zoom）	認知症ケアと地域包括ケア	１名
	７月６日	地域交流室（Zoom）	認知症ケアと地域包括ケア	２名
	６月 30 日	地域交流室（Zoom）	ケアマネジメント研修	１名
	９月 20 日	ふくし交流プラザ	福祉サービス苦情解決セミナー	１名
	10 月 11 日	地域交流室（Zoom）	高齢者における疾患別ケアについて	３名
	10 月 26 日	地域交流室（Zoom）	高齢者の栄養改善活動について	１名
	11 月 22 日	地域交流室（Zoom）	精神疾患の障害特性の理解と支援体制つくりに向けて	４名

＜延べ参加者数：18 名＞

⑵内部研修

実施日		場　所	研修内容	参加人数
令和４年	４月 20 日	紙面	令和４年度事業計画について 施設理念、コンプライアンスについて	４名
	５月 18 日	紙面	感染症予防について（食中毒、コロナウイルス他）	４名
	６月 15 日	紙面	災害対策について	４名
	７月 20 日	紙面	科学的根拠に基づくケア	４名
	８月 17 日	紙面	高齢者虐待と身体拘束廃止について	４名
	９月 21 日	紙面	感染症	４名
	10 月 19 日	紙面	感染症について	４名
	11 月 16 日	紙面	ノーリフティングケアについて	４名
	12 月 21 日	紙面	医療の知識	４名
令和５年	１月 18 日	紙面	高齢者虐待と身体拘束廃止について 事故防止について	４名
	２月 15 日	紙面	認知症ケアについて	４名
	３月 15 日	集合	令和５年度事業計画	４名

＜延べ参加者数：48 名＞

※Zoom 研修の拡大により、外部研修の述べ参加者が前年度 17 名から今年度 26 名と 19 名増加した。

内部研修は、前年度同様に全員参加が出来た。

５．総括

⑴介護保険の目的に沿って、自立した生活を継続し、要介護状態の軽減・悪化予防をするために、適切な保健医療サービス、福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるように、利用者を継続的に支援することに努めた。

⑵新型コロナウイルスの感染者拡大状況に応じて、訪問時には対策をとり、必要なケースには統合的なアセスメントの実施、モニタリング、評価を行った。又、利用者及び家族に不安や心配を与えないよう感染状況と、利用者の生活状況等を鑑み、モニタリングについて電話やデイでの面談で適切にサービスの継続や生活支援ができると判断した場合は、訪問を控えるなどの対応をとったが、ケアマネ２名が陽性となった。

⑶令和３年度末にケアマネの退職に伴い、４月から新人ケアマネへ交代した。その為、指導を行いながら、受け持ち件数の調整を取りながら業務を行った。新人ケアマネも下半期より一定数の利用者を担当することが出来るようになった。目標である要介護者１３８名/月・要支援者２８名/月には届かなかった。

⑷統合的なアセスメントを実施しながら、個々の生活課題に対する目標が達成出来るように、研修の機会を持ち、毎週行われている居宅会議では、困難ケースの具体的な処遇の方針やマネジメントに関する技術の向上に繋がるように、互いの意見交換や伝達講習など行う事で、介護支援専門員としての資質の向上を図った。職員の中には高知市居宅介護支援事業所協議会・東部ブロック運営委員・資質向上委員主任ケアマネの会・東部事例勉強会の役員として研修等の立案や運営に携わり、ケアマネジャーの質の向上に寄与した。地域ケア会議や各種研修等に積極的に参加し、地域住民・他事業所のケアマネジャーとのつながりを深め、多様な情報や知識の収集を図ることが出来た。

⑸法人で行われている各種委員会の参加の担当者を上半期 2 名で行っていたが下半期より全員で分担することで法人の指針や他事業所の職員との意見交換が行えるようになった。

⑹下半期は特養にて昼食時の食事介助支援の体験を通して、低栄養の方の食事、嚥下状態に合わせた姿勢の保持、食事形態等を学ぶことで担当利用者及び家族に対して、食事等のアドバイスを行う事が出来た。

地域連携室さわらび 事業報告書

１．令和４年度 運営方針

⑴法人の専門性・設備・機能を生かしながら、地域の中で「さわらび」があって良かったと多くの皆様に思って頂けるよう役割を果たす。

⑵地域の「困ったな」をそのままにしない。

⑶利用者や家族、住民の何気ない一言やつぶやきにアンテナを張って聞き逃さない。

２．令和４年度 業務内容

⑴地域の相談窓口対応

⑵地域で開催される会合や行事への参加

⑶宅老所や老人クラブ等の交流や支援

⑷ボランティアや社会参加等、活動のきっかけ作りとなる機会や場の提供

⑸さわらびの存在が地域の社会資源として機能していく為のニーズの聞き取り

⑹防災活動に地域と共に取り組める関係づくりと連携強化

⑺田役への参加

⑻ほうっちょけん相談窓口対応

令和４年度 基本方針・稼働率目標に基づいた業務内容を次のように行った。

令和４年度 事業報告

１．事業内容

⑴営業日及び営業時間　　月曜日から金曜日　午前８時30分から午後５時30分

※但し、12月29日から１月３日は除く

⑵職員体制

室長　　１名（常勤）

２．相談対応

⑴令和４年度は、電話や来設による相談対応は25件（前年度30件）であった。相談内容としては、介護保険に関することや生活に関する相談が中心で、必要に応じて包括支援センターや居宅介護支援事業所等への連携を図った。

⑵高知市からの要請を受け、開設している「ほおっちょけん相談窓口」の相談実績は、令和４年４月～令和５年２月末までの間で７件（前年度６件）であった。

⑶地域活動

①高須地区民協定例会への参加（毎月）

②高須老人会、ミニデイ活動の後方支援や参加協力
③五台山地区田役（年 2 回）
④五台山老人会での百歳体操サポートと行事参加
⑤五台山ふれあい展への作品（デイサービスセンター樹蔭）出展
⑥「子供 110 番の家」指定登録

３．総括

多様な相談に寄り添い、丁寧に応じることを心掛けた対応を行いました。
施設の存在や、求められていることはどの様なことであるだろうか日々アンテナを張り、地域の人々との交流についてもプロセスを大切にした活動を心掛けました。又、防災士取得によって新たな学びや視点の広がりと共に、施設内のみならず周辺地域においても防災意識や対策を高めていける方法についても考えていく一年であった。

※施設正面玄関に「ほおっちょけん相談窓口」と「こども 110 番のいえ」のステッカーを掲示しています。尚、「こども 110 番のいえ」のアンパンマンは、肖像権の関係でホームページやパンフレットとうに使用禁止の取扱いとなっています。